

健康管理ハンドブック

国際協力事業団
青年海外協力隊

MEMO

Name	Mr. Miss.	
Date of birth		
Adress of J.O.C.V. office	Tel.	
Adress of working office	Tel.	
Vaccinations	Small pox Cholera Polio Tetanus Yellow fever Ravies	
Disease history		
Tuberculin test	Positive Negative	Last test (month, year)
B C G		

Vaccinations : 各自施行年月日を記入
Disease history : 今までにかかった病名と年令を記入
Tuberculin test : 現在、陽性(P)陰性(N)か最終検査日を記入
B C G : 接種年を記入

健康管理ハンドブック

JICA LIBRARY



1015556[2]

国際協力事業団
青年海外協力隊

国際協力事業団	
授次 54. 4. 13	000
月日 '84. 5. 23	98
登録No. 07181	JV

目 次

はじめに	1
I. 病気になったと思ったら	2
1. 緊急対策を要する場合は	2
2. 医者をよぶ時, 医者にかかる方がよい時	2
a. 発 熱	2
b. 痛 み	3
3. 医者とのコミュニケーション	4
a. 人間関係	4
b. 予防接種について	5
c. 上手に医者にかかるには	5
II. 救急処置	5
1. 気道確保	5
2. 熱 傷	7
3. 毒蛇に咬まれたとき	7
4. 頭の外傷	7
5. 肋骨骨折	8
III. 病気について知るために	9
1. 寄生虫症	9
付: 寄生虫病一覧表	
2. 感染症	9
a. 黄 熱	9
b. 出血性症候群を呈する昆虫媒介ウイルス疾患	10
付: 一覧表	
c. デング熱	13

d. マラリア	13
e. 狂犬病	17
f. 破傷風とガスエソ	18
g. 下痢	19
h. 肝炎	20
i. コレラ	23
j. 赤痢 アメーバー赤痢・細菌性赤痢	23
k. 腸チフス	25
IV. 環境と健康	27
1. 高温気象による病気	27
a. 熱けいれん	27
b. 暑気あたりと日射病	27
2. 高地病	28
3. 精神衛生	29
a. 精神身体医学	29
b. 精神身体症	30
V. 表現法・用語集	32
VI. 調査票（健康調査・CMI・MAS）	90
VII. 重症病発生時報告チェックリスト	99
（駐在員－事務局連絡用）	
VIII. 健康記録	109

は　じ　め　に

2年間の生活を充分意義あらしめるためには健康であることが第一条件です。しかし、気候風土の甚しい変化は少なからず体調をくづし、発病につながるものとなりましょう。

もし、体の具合に異常を感じたら、直ぐにこのハンドブックをひらいてみて下さい。又、思わぬ怪我があったときにはことさらです。

ここに掲げたことからは、これまでに多くみられた例と注意の必要な例が中心になっています。いずれも本国に連絡する場合のチェックリストにむすびつきます。

とくに、現地で外国人の医者にかかるとき、医者をよんだとき、医者に状態を正しく知ってもらうために、たゞ診察をしてもらうだけでなく、痛みの感じ方や心の状態まで充分に伝えることが必要で、その時のために表現の見本を英・仏語を用意しました。

又、出発前の訓練期に行なった“健康調査表”“MAS”や“CMI”も集録してあります。健康に不安のあるとき、これらを用いて本国に送って下さい。“健康調査表”については、任期の中間に指示されますので、進んで提出して下さい。

このハンドブックがあなたの健康を守り、同僚の危機を救うために、充分活用されることを願います。

国際協力事業団
青年海外協力隊

Ⅰ 総論 — 病気になったと思ったら —

1. 緊急対策を要する場合は

交通事故、高温低温による意識障害など、本人の意識が失われるような事態に対しては、その場合の連絡方法を協力隊として組織だてである。そのような病人がでたとき、たまたま傍に居あわせたならば、先ず気道の確保をする。つまり、舌根が落ちこんで咽（のど）をふさいでいるのが普通だから、頸（くび）を伸ばし、肩の下に枕を入れて、呼吸ができるようにした上で連絡に行くこと。

激しい頭痛に嘔吐（おうと）が一緒にきたとき、また激しい腹痛が嘔吐を伴って襲ってきたとき、このいずれの場合も、本入はできるだけ安静を保って、ほかの人に病院、診療所等の医療機関と連絡を取ってもらうはかない。この場合、検温器を持っていると役に立つ。38℃以上の発熱を伴っていたら、髄膜炎、腹部臓器の穿孔（せんこう）など、一刻を争う事態が考えられるが、熱がなかったら、痛むところを冷やして静かに医者を待つことができる。

これらの例が示すような、本人の判断ではどうしようもない事態に対する対策は、ホテルの非常階段のように、予め確認しておかなければならない。

突然襲ってくる胸痛、呼吸困難（自然気胸）、異物誤えん、ヘルニア嵌頓（かんとん）、胆石・腎結石発作なども、すぐ医師に連絡しなければならぬ病気だが、後の3つの病気は病人自身が予め知っているはずである。

2. 医者をよぶ時、医者にかかる方がよい時

医者を訪れる理由の主なるものは、発熱、痛み、出血、浮腫、黄疸から、漠然たる不安に至るまでさまざまだが、その主なるものを挙げて、解説を試みる。

a. 発熱

微熱と呼ばれるのは、37.5℃までを言う。この場合は、まず熱型を1週間位みて、朝起きたときと、夜眠るとき、少なくとも2回は検温し、記録して医者に見せるこ

と。その程度の熱が2～3日続いたところで、1週間以内に下熱するようなら医者に行くこともない。後は医者が判断してくれるものだが、10日以上続く微熱としては、結核性病変、寄生虫症による貧血などがあるので、医者を訪れる際に、咳痰（せきとたん）、糞便が採れるよう用意していくとよい。予め採っていても、時間が経って検査の成績が信頼できなくなることがあるから、朝の排便を控えて行くほうがよい。

38℃以上の熱がでたら、まず仕事を休み、宿舎で十分な液体（アルコールを含む飲料は禁止）を摂取して寝る。発熱の原因は、後になって振りかえれば、熱型（1日中、上がりっぱなしか、朝低く夜高いかなど）でも推定できるが、発熱したてはマラリアでさえも典型的な熱型はとらない。例えば、三日熱マラリアに罹っても毎日発熱する。発病当所の判断の助けになるのは、発熱と同時に起きる症状である。暑い所で1日働いて、帰ったら身体がほてるので検温したら38℃あったという場合には、液体をたくさん飲んで静かに寝て、翌朝どうするか考えればよい。しかし、寒けがし、急激に熱が上昇する場合には、急いで医者に連絡したほうがよい。この場合でも、激しい頭痛（軽い頭痛は発熱の場合は常にある）と嘔吐、あるいは激しい腹痛と嘔吐がきたら至急連絡をとらなくてはならない。このような状況とは異って、ただ熱があるだけ、あるいはかぜの症状、くしゃみ、のどの痛み、せきなどを伴う熱の場合には、安静にして、アミノペニシリンなどの有効範囲の広い抗生物質を飲んで、しばらく様子を見ていけばよいこともある。特に、扁桃炎の場合には高い熱がでる。

体温が低く、肌が湿って冷たく、冷汗がでる状態、特に、それに下痢が伴う場合には、単なる食あたりなどを見逃すことなく、直ちに医者と連絡をとらなければならない。

6. 痛み

痛みには、それ自体は苦しいがそれだけのものと、それ自体の苦痛もさることながら一種の警告と受けとらなければならないものがある。前者は歯痛などがあり、その場合には、アスピリン（鎮痛剤）を用いてもよい。しかし、後者、例えば頭を打った後、2,3日以上続く頭痛、冷汗を伴う前胸部の絞めつけられるような痛み、嘔吐を伴う腹部の疼痛などに、薬を用いて一時しのぎするのは危険である。

痛みを説明するとき、自発痛（なにもしないでも、ひとりで痛む）、圧痛（さわったり、おしたりすると痛む）の区別をきちんとつけておかないと医者の方で混乱する。

外国語では、この2つは全く別な言葉で表現されるので注意を要する。痛む部位と病変の部位とは一致しないことがある。例えば心臓の病気の場合、痛みは左前胸部の鼓動を感じる所ではなく、胸の中央、胸骨の裏側の痛み、あるいは頸（くび）が絞めつけられるような痛みを感じたり、胆石症の発作の場合、右肩の痛みとして感じたりするので、痛む所に病気があると決めこんではならない。痛みの表現法をよく知っておかないと、話がくいちがってしまうので注意を要する。（用語集“痛み”“痛む”を参照）

3. 医者とのコミュニケーション

医者にかかる時の用意に、各人が家族歴 Family History, FH（両親、兄弟と姉妹）と既往歴 Past History, PH（これまで罹った主なる病気、持病、予防接種歴）を暇をみてつくっておくとよい。そして具合が悪くなったときに現病歴 Present Illness, PI をつくって持っていけば話は簡単になる。

a. 人間関係

医者にかかることは、一種の人間関係をつくることで、金を出して物を買うのと違うことを承知しておかなければならない。例えば、頸のリンパ節が腫れた患者がきて、病院でさまざま調べたあげく、手術までして嚔丸の腫瘍であることがわかった例がある。もちろん本人は嚔丸が腫れていることに気づいてはいたのだが、恥ずかしくて言わなかったのである。外国で、しかも奥地である場合、そのような信頼関係はできにくいにして、医者にかかりながら、その医者を信頼できぬような状態は真に不幸だと思う。

独りで分ったつもりになるのは危険だが、医者との話を進行させ易くするため、人間の体の構造と機能について、正確な知識をもっていることが大切である。肝臓が主として右側にあること、腎臓が左右2個あることぐらいは知っていて損はない。

医者との会話は、正確に事実を述べて主観的判断を加えないよう注意しなければならないが、最も大切なのは、症状、徴候の現れた順序を正しく述べることである。眠れない夜が続いて頭が痛くなったのか、頭が痛いのがさきで、眠れぬほど頭が痛いのかでは、医者として考えることがだいぶ違ってくる。

b. 予防接種について

ある国で働く場合、その国の人々と同じ生活をするのは当然だが、残念なことに私たちの既往歴はその国の人々のそれとはちがう。極端にいうと、その国の人たちはその国に在るさまざまな伝染病、寄生虫病に罹って、その災難に耐え、生き抜いてきた人々であり、私たちはそのような経験を経していない場合が多い。そこで、できるだけ赴任地の人々と似た既往歴をもつことになるようにと、それぞれの予防接種をするわけであるが、その効果は無いよりましという程度で、実際にその病気に罹って治った人々が持っている免疫力とは比較にならない。せめて幾分なりと、それに近づぐために、面倒なことながら繰り返し予防接種をするのである。そして医者にかかる場合には、必ず予防注射歴を提示することが大切である。

c. 上手に医者にかかるには

私の経験では、外国で医者にかかる最もよい方法は、まずその国の人と友達になり、その友人の信頼する医師のところに入れてもらうことだと思う。ついでに細かい点はその友人に通訳を頼めばよい。そういうことがまだ準備できぬうちに病気になる場合には止むを得ないとしても、自分の国の言葉しかしゃべりたがらぬ、しかも優れた医者もいることは事実である。その人たちは、たいてい外国語の1つや2つは話すけれども、自国語でしゃべっているときのほうが、より親切だということは有りうる。ただし、この友人選びは慎重にしないと、とんでもないことになる。

医者に対する支払いも、その国で行なわれているとおりにしなくてはならない。こちらでみて不合理であろうが、なんであろうが、その国なりの歴史あつての習慣なので、まずはそれに従うべきである。

II 救 急 処 置

1. 気道確保

呼吸、循環、中枢神経の働きが急に止まることがあれば命が危ないが、このうちで、何の設備もないところで救急処置が可能なのは呼吸、それも気道の確保だけである。つまり咽、気管に異物が詰ったとき、あるいは溺れたときである。

餅のような粘り気のあるものが気管と食道（図参照）の分岐部より上で詰っている

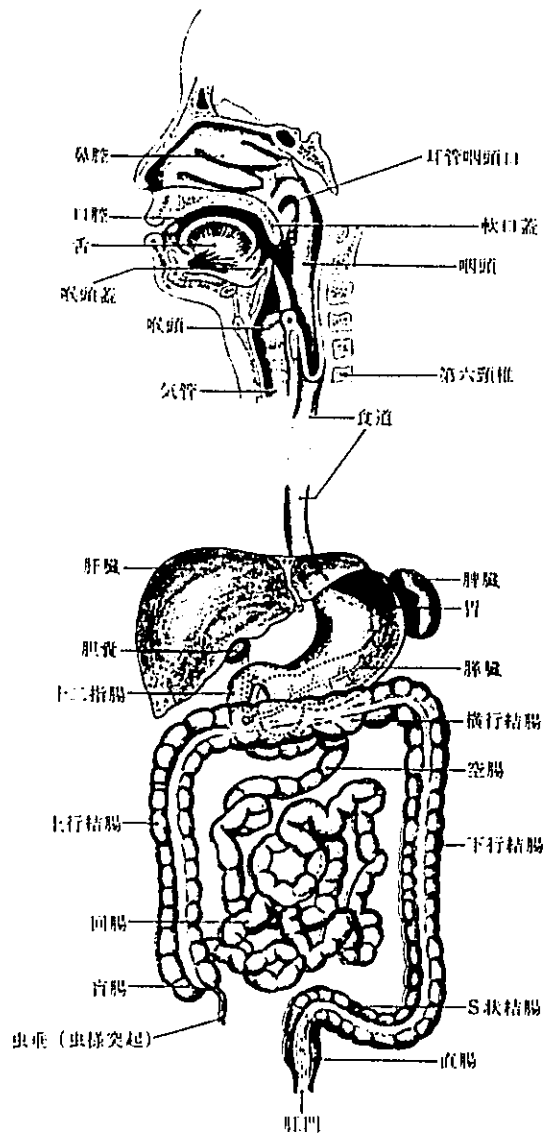


圖 消化器 (三井俱夫 入門解剖図譜 東京 建帛社 1964)

ときは指を口の中に入れて吐かせるか、両方の耳殻を上方に引き上げて食道のほうに落してやるかする。小さな物、例えばビーナツ、硬貨などが気管に入ってしまったときは、すぐ医者（できれば、耳鼻咽喉科）につれていくほかない。

動物実験では7分以上溺れた状態におくと救助が困難になるから、できるだけ速やかに人工呼吸を行なう。人間の例では、20分間溺死の状態にあって蘇生した報告があるから、あきらめないで人工呼吸を行なうこと。

肺に入ったのが淡水の場合と海水の場合とでは、その後の対策が違うので、呼吸ができるようになったら、すぐ病院に運びこんで状況をよく説明すること。

2. 熱 傷

ヤケドをしたらできるだけ早くその部位を冷やすこと。衣類は切り裂いてホースで静かに水をかける。10分間冷しただけでも後の治りがちがう。重症のときは数時間冷し続ける。

後のことは病院で消毒してもらうとして、多少汚れた水でも、とにかく冷すこと。もちろん氷があればそれを用いて冷し続ける。

3. 毒蛇に咬まれた時

咬まれた所より上（心臓に近い部分）をきつく縛り、30分に1回、3分だけゆるめる。縛ったところより末梢の部分を氷枕、氷嚢で冷やす。こうして時間をかせいで病院に運び、血清を手に入れて注射する。

4. 頭の外傷

おなじ外傷でも、その部位によって病状は違ってくる。

頭部に打撃を受けた場合に、一時的に意識を失うことがある。2～3時間で意識が回復する場合を脳震盪と呼んでいる。それ以上意識が回復しない場合は脳組織が壊われたか内出血したかであり、3日以上回復しなければ、回復後にも症状が残る。

頭の外傷の場合は安静が第一である。

5. 肋骨骨折

肋骨が1本だけ1カ所で折れても痛いだけで大したことはない。1カ所ずつならば2,3本折れてもすぐに命にかかわることはないが、危険なのは数本の肋骨が2カ所以上で折れたときである。激しい疼痛と呼吸困難が来る。この場合には病院に行って適切な処置をうけないと生命の危険がある。

肋骨骨折で、いまひとつ危険なのは肺に傷がついたときで、この場合は肺が縮んでしまうので、やはり疼痛と呼吸困難がくる。

Ⅲ 病気について知るために

1. 寄生虫症

寄生虫症にはさまざまあって、一括してこんなものと言いきれない、たいていは人の糞便（時に尿）が感染源である。その卵あるいはそれが孵化した仔虫が直接に（つまり食物に混って、あるいは汚れた水が皮膚について）人の口や皮膚から侵入することもあるが、中間宿主（ときには第2次中間宿主のあることもある）の体内で一定の发育段階を経て、はじめて人間の体内で生存しうる形となることもある。おおまかに言えば、生ものを口にしないことや、汚水に入るときは長靴をはくことによって防げる。このようなことは実際にはできにくいことで、寄生虫対策は国を挙げてやらなければ個人衛生ではなかなか難しいことである。しかし困ったことには寄生虫症には、細菌感染の場合のように有効無害な治療剤がないことが多いので多少の不便はあっても予防に重点をおくほかはない。

2. 感染症

黄熱（昆虫媒介ウイルス疾患、デング熱）

この2つの病気は、両方とも昆虫媒介ウイルス群に属するウイルスでおきる。そして媒介する昆虫は、いずれも主としてエジプト蚊 *Aedes aegypti* である。そして不思議なことには、デング熱のある、東南アジアには *Aedes aegypti* がたくさんいるのに黄熱流行がない。

a. 黄熱

1648年、Yucatanでの大流行以後、約200年の間、黄熱は人類を襲った最も大きな災の1つと言われてきた。1905年になってもアメリカ合衆国南部の港町では5,000人もの人が黄熱で死んでいった。ただしこれらは多くの場合奴隷売買と関係があった。現在残っているのは中南米と東アフリカである。

黄熱はアメリカ大陸でいえば森林地帯の木の梢にいるヘマゴガス *Haemagogus* と呼ばれる蚊が木の上で生活する猿の間でウイルスを媒介しているし、アフリカでは、蚊

(*Aedes africanus*) - 猿-蚊-猿という環が森の梢で保たれている。ヘマゴガス蚊は人も刺すから、南米の森の中で木を切り倒しているときに、梢の蚊が地上に降り、その蚊に刺れた人が発病し、その人の血をエジプト蚊が吸って次の人を刺すという。人-エジプト蚊-人という環が地上にできる。*Aedes africanus* のばあいはあまり人を刺さないから、アフリカでは黄熱の猿が木から降りて村里へでてきたところを人里の蚊、たとえば *Aedes aegypti*, *Aedes simpsoni* などが刺して猿の血、そしてその中の黄熱ウイルスを吸いこみ、それを人にうつすものらしい。

森林の梢の上で維持されている黄熱を森林黄熱、地上に降りてきて広がるものを都市黄熱と呼んでいる。

黄熱という病名は、誤りとはいえぬまでも誤解を招き易い。典型的症例でさえも黄疸よりは「黒色嘔吐」つまり血を吐くことのほうが多い。鼻血、下血もみられる。

致死率は5%くらいのもので、軽ければ、発熱と頭痛だけ3日位で治る。重症例は肝臓と腎臓と血管（とくに脳の血管）が冒されて、体のいたるところで出血がおきる。

予防接種が有効である。黄熱の発生する可能性のある国に出かけるときは、予め予防接種をして出かけ、働いている地方で森林黄熱の発生がみつかったら、その森林に入りこむことは止めなければならない。その国の政府は蚊の絶滅作戦を行なうことになる。そしてその間に周囲の住民に対する集団免疫が行なわれるから一緒に予防注射をうけたほうがよい。

b. 出血性症候群を呈する昆虫媒介ウイルス疾患

蚊やダニに刺されることは、どの国でも殆ど避けられないことだが、問題は、その国、その国で蚊が特有な病気を媒介することである。

その土地の人たちは、幼時からその蚊に刺され、その病気に罹り、生き残った人たちである。大抵のウイルス病は子どもの時に罹るほうが軽い。そこへ、その病気のない日本で育って、成人となってから派遣されて、その土地の人たちと同じ生活をしようとするのだから難しい。その困難をできるだけ科学的に乗り切るための参考資料を提供するのが、このシリーズの目的でもある。

昆虫に刺されて罹るウイルス病のあらましをあげてみると表-2 のようになる。

その中でアジア地域と関係の深いデング熱について述べる。

表-1.

名 称	感 染 源	中間宿主	侵入門戸	体内での移動	体内での棲息部位	症 状	治 療 法 方	流 行 地 域	
住血吸虫症	日本住血吸虫症	尿 糞 便	両棲巻貝	皮 膚	循 環 血 液	門 脈 系	肝 障 害	スチブナール	日本・中国・フィリピン・タイ・ラオス
	マンソン住血吸虫症	”	巻 貝	”	”	”	”	ニリダゾール	熱帯アフリカ・南アメリカ
	エジプト住血吸虫症	”	”	”	”	痔 静 脈 叢	血 尿		中東諸国・ナイル渓谷
肺 吸 虫 症	糞 便	カニ・ワカニ	経 口	小腸→腹腔→肺	主として肺	肺 浸 潤	ファンキノン	東南アジア全域	
肝 吸 虫 症	”	淡 水 魚	”	小腸→胆道	主として胆管	肝 障 害		東南アジア全域	
無 鉤 条 虫 症	”	ウ シ	”		腸 管	多くは 無症状	塩酸キナクリン	エジプト・ケニア・中東・ユーゴス ラビア・メキシコ	
有 鉤 条 虫 症	”	ブ タ	”	中間宿主のほあい 全身に拡る	”	種 々	アテブリン		
広節裂頭条虫症	”	魚	”		”	多くは 無症状	アテブリン	バルチック海沿岸・日本・チリ スカンジナビア諸国	
フ イ ラ リ ア 症	ノシクフト糸状虫症	血 液	蚊	蚊にささ れること	血液→リンパ管	リンパ組 織	リンパ管の 閉鎖	アテブリン	北緯41°と南緯30°の間
	マレー糸状虫症								インド・セイロン・ビルマ・タイ・ ベトナム・マレーシア・インドネシア ボルネオ・ニューギニア フィリピン
鉤 虫 症	湿った砂地		皮 膚	血行→肺→咽→腸		腸管の 慢性出血	四塩化エチレン	世 界 中	
皮膚仔虫症	”		”	皮 膚			チアベンダゾール	南アメリカ	
糞 線 虫 症	汚れた土壌		”	血行→肺→咽→腸	腸 管		チアベンダゾール	世 界 中	
回 虫 症	汚れた食器		経 口	小腸壁→血行→肺 →咽→腸	腸 管		クエンサンピベラジン	世 界 中	
アンサキス 症	タラ・サケ・ニシン		”		胃			北ヨーロッパ・日本	
蛭 虫 症	汚れた手指		”		肛 門		クエンサンピベラジン	世 界 中	
蛭 虫 症	汚れた手指・食器		”		太 腸		チアベンダゾール	世 界 中	
毛 様 線 虫 症			”		腸 管 内		四塩化エチレン	東南アジア	
血 管 線 虫 症	エビ・カニ・カタツムリ		”					東南アジア	
施 毛 虫 症	豚 肉		”	腸管→筋肉	全 身		チアベンダゾール	カナダ・アメリカ	

c. デング熱

古典的デング熱は、潜伏期（蚊に刺されてから発病までの期間）が5～8日、結核炎あるいは鼻カタルのような軽い前駆症状のあと、突然、われそうな頭痛、眼窩後方の痛み、腰痛に襲われる。動く痛みは激しくなる。脱力感、鞏膜充血、リンパ節腫脹などがある。腕の内側が薄く紅潮したり、ハシカのような形の発疹がでたりすることもある。有熱期間は5～6日で、その間に1度下熱することもある。

このような典型的な型ではなくて、発熱、食欲不振、頭痛、筋痛などインフルエンザのような症状で終り、気をつけてみれば軽い皮膚疹が認められる程度のこともある。この型は有熱期間が72時間程度である。

このほかに出血性デング熱症候群と呼ばれるものがある。子どもの病気で、それもその土地の子どもに起きて外来者には起きないとされている。この場合の死亡率は6～23%である。この病型については、不明な点が多いので、今後よく調べてみなければ外来者は安全とは言いきれない。

どの型のデング熱対策も、つまるところは蚊をなくすこと以外にない。

d. マラリア

マラリアは、マラリア原虫によって起きる熱病である。マラリア原虫にはたくさんの種類があるが、人体間に侵入するのは4種類である。

マラリア原虫は、蚊によって媒介されるが、マラリア原虫の立場でいえば、人間が中間宿主で蚊が終末宿主なのである。つまり、マラリア原虫は人間の体の中では無性生殖を繰り返すが、有性生殖は蚊の体内のみで行なわれる。

1個の原虫が人間の体に入ると、まず肝臓に入りこんでしばらく過ごし、その後赤血球に入りこんで分裂し、いっぱいになったところで赤血球が破裂し、その時放出された繁殖体はそれぞれ次の赤血球に入りこむ。そしてまたそこで分裂増殖して赤血球を破裂させる。赤血球がいっせいに崩れると発熱する。したがって何日目に熱が出るかは、赤血球のなかで原虫が分裂するスピードによって決まる。このスピードは原虫の種類によって決まっている。三日ごとに発熱するのが三日熱マラリアと熱帯熱（悪性三日熱）マラリアで、四日毎に発熱するのが四日熱マラリアである。他に卵型三日熱というものがあるが、これはまれで症状も軽い。

三日熱マラリアと熱帯熱マラリアでは、蚊に刺されてから第1回目の熱発作までが

表 - 2

症 状	ウ イ ル ス	媒 体	感 染 地 域
発熱, 筋痛, 頭痛, 全身 倦怠	Mayaro	蚊	Trinidad, Colombia, Brazil
	Mucambo		Brazil
	Uruma	蚊	Lowland forest, Bolivia
	Venezuelan equine encephalities		Florida, Texas, Louisiana, Mexico, Central America Ecuador, Colombia, Venezuela, Brazil, Trinidad, Surinam, Guyana, French Guiana
	Kunjin	蚊	Northern Australia
	Spondweni		South Africa, Mozambique, Nigeria
	United States bat salivary gland	蚊(?)	California, Texas, Sonora in Southwest North America
	Wesselbron		South Africa, Bechuanaland
	Yellow fever	蚊	Africa, Central and South America
	Zika		Uganda, Nigeria
	Apeu	蚊	Brazil
	Anhembi		Brazil
	Caraparu	蚊	Brazil, Panama, Trinidad
	Itaquí		Brazil
	Madrid	蚊(?)	Panama
	Marituba		Brazil
	Murutucui	蚊	Brazil
	Oriboca		Brazil
	Ossa	蚊	Panama
	Restan		Trinidad
	Calovo	蚊	Czechoslovakia
	Germiston		South Africa, Angola
	Hesha	蚊(?)	Nigeria
	Guaroa		Colombia, Brazil
	Tahyna	蚊	Czechoslovakia, Yugoslavia
	Catu		Brazil, Trinidad
	Guama	蚊	Brazil, Trinidad
	Oropouche		Brazil, Trinidad
	Bwamba	蚊	Uganda
	Phlebotomus, Naples		Italy, Egypt, Iran, West Pakistan
Phlebotomus, Sicilian	砂バエ	Italy, Egypt, Iran, Pakistan, Yugoslavia	
Chagres		Panama	
Candiru	蚊	Brazil	
Punta Toro		Panama	
Colorado tick fever	ダニ	Western United States	
Nairobi sheep disease		Kenya, Congo	
Rift Valley fever	蚊	Africa	
Quaranfil		Egypt, South America	
Dughe	ダニ	Nigeria	
発熱, 全身倦怠, 頭痛, 筋痛, 関節痛, 発疹	Chikungunya	蚊	South, East, West, Central Africa; India, Thailand, Vietnam, Malaya
	Mayaro		Brazil, Trinidad
	O'nyong-nyong	砂バエ	East Africa, Senegal
	Sindbis		South and East Africa; Egypt, Israel, India, Malaya, Philippines, Australia
Bunyamwera	蚊	South, East, West Africa	
Changuinola		Panama	
Ross River	蚊	Australia	
発熱, 全身倦怠, 発疹, リンパ節腫脹	Dengue 1	蚊	Hawaii, Oceania, New Guinea, Japan, Malaysia, Thailand, India
	Dengue 2		Circumglobal
	Dengue 3		Caribbean, Oceania, Philippines, Thailand
	Dengue 4		Philippines, Thailand, India
	West Nile		South and West Africa, Nile delta, Near East, Israel, India, Malaysia, Borneo

症状	ウイルス	媒体	感染地域
発熱, 中枢神経症状 (髄膜炎, 脳炎)	Eastern encephalitis	蚊	Eastern Canada, United States, Mexico, Dominican Republic, Jamaica, Panama, Trinidad, Brazil, Colombia, Argentina
	Western equine encephalitis Venezuelan equine encephalitis		Canada, United States, Mexico, Brazil, Argentina Florida, Texas, Louisiana, Mexico, Central America, Ecuador, Colombia, Venezuela, Brazil, Trinidad, Surinam, Guyana, French Guiana
	Apoi ilheus	?	Hokkaido, Japan
	Japanese encephalitis	蚊	Northern South America, Trinidad, Central America, Florida Japan, China, Malaya, Taiwan, Thailand, Vietnam, Burma, Guam, Philippines, Korea, Australia, New Zealand
	Kyasanur Forest disease Louping ill Medoc	ダニ ?	India Great Britain, Eire United States
発熱, 中枢神経症状 (髄膜炎から脳炎)	Murray Valley encephalitis	蚊	Australia, New
	Negishi	?	Japan
	Powassan	ダニ	Canada, New York
	St. Louis encephalitis	蚊	United States, Caribbean Islands, Panama, Brazil, Argentina
	Tick-borne encephalitis	ダニ	Central and Eastern Europe, U.S.S.R.
	West Nile	蚊	South and West Africa, Rhone delta, Near East, Israel, India, Malaysia, Borneo
California encephalitis	砂心ダニ	United States	
Phlebotomus, Naples Congo-Crimean hemorrhagic fever		Italy, Egypt, Iran, West Pakistan Central Africa, West Pakistan, Bulgaria, U.S.S.R.	
発熱, 全身倦怠, 頭痛, 出血, 筋痛	Chikungunya	蚊	Thailand, Malaysia, India, Vietnam
	Dengue 1 Dengue 2		Thailand, India Philippines, Vietnam, Thailand, Malaysia, India, Puerto Rico
	Dengue 3 Dengue 4	ダニ	Philippines, Thailand Philippines, Thailand India
	Kyasanur Forest disease		India
	Omsk hemorrhagic fever	ダニ	Western Siberia, U.S.S.R.
	Yellow fever	蚊	Africa, Central and South America
	Central Asian hemorrhagic fever	ダニ(?)	Central Asia, U.S.S.R.
	Congo-Crimean hemorrhagic fever	ダニ	Southern U.S.S.R., Central Africa, West Pakistan, Bulgaria
Far Eastern or Korean hemorrhagic fever	ダニ	U.S.S.R. Manchuria, China, Korea	

10～14日、四日熱マラリアでは18日から6週間である。これらの潜伏期は、抗マラリア剤などの影響で数カ月延びることもある。

マラリアの原虫が人の赤血球のなかで分裂を繰り返していきうちに雄と雌の性質を備えた原虫ができる。この雄と雌の原虫は人の体内では赤血球を破壊して外にすることができない。ただし蚊に吸われるのを待っているばかりである。運よく蚊に吸われると雌雄の原虫が蚊の胃の中で合体して受精体ができ、それが分裂し、多数の胞子となり、蚊の唾液腺に集まって人間の体に注射するのを待っている。

マラリアの特徴はさむけに引き続いておきる急激な発熱であるが、これは熱帯熱マラリアを除いて規則的に繰り返される。20分から60分位続くさむけ、ついで40～42℃の高熱が3～8時間続く。その後は水を浴びたような発汗期となり、病人はぐったりする。多くの場合、最近の発作は激しく、発作を繰り返すうちに、病人も弱ってくるが発作自体も緩和される。

三日熱マラリア

生命の危険は少ないが、再発しやすい。初期には定型的な三日熱の形をとらず、発病後1週間で定型的発作、つまり隔日の発熱となる。

四日熱マラリア

正確に3日ごとに起きることが多い。病人の消耗は三日熱よりも強い治療によく反応する。

悪性マラリア（熱帯熱、悪性三日熱マラリア）

このマラリア原虫は36～38時間で赤血球を崩壊させる。この時間が他のマラリア原虫のようにはっきりきまっていないので、定型的熱発作が殆どみられず、持続的発作とともに脾臓が腫れ、精神錯乱、むくみ、胃腸症状などがあらわれる。この時期に治療すれば無事に回復するが、見逃すと、急に現れる高度の貧血、壊れた赤血球の塊りが毛管血管につまる。5兆以上という多数の赤血球が原虫の侵襲を受けることにもよるものである。この型のマラリアで最も恐ろしいのは急性期の脳性マラリアと経過中に起きてくる黒水病とである。

治療：熱発作対策と根治療法とがある。

1. 熱発作治療法

（処方1）クロロキン（商品名レゾヒン）；第1日は初回0.6グラムその後6時間おいて0.3グラム、その後は1日0.3グラム。

(処方2) 塩酸キニーネ；三日熱マラリアでは、1日量1.0～1.5グラムを3回に分けて1～2日間投与する。熱帯熱マラリアでは1日量1.5グラムを3～5日間与える。

(処方3) サルファ剤とピリメサリンの合剤がある。サルファモノメトキシシン1.0グラムとピリメサミン50ミリグラム（新MP錠で4個）を1回に服用。

2. 根治療法

三日熱、四日熱、卵型マラリアは熱作を抑えたのち、プリマキン塩基15ミリグラムを1日1回14日間連続投与し、2ヶ月後この療法を繰り返す。

予防内服

マラリア流行地に入ったら直ちに次の何れかの予防内服を行ない流行地を去った後、6週間続ける。

- a. クロロキン塩基 300 mg 週1回
- b. ピリメサミン 25 mg 週1回
- c. プログアニル 100～200 mg 毎日

クロロキン、ピリメサミン耐性熱帯熱マラリア流行地では、

- d. 新MP錠 週1回

e. 狂犬病

狂犬病に感染する機会は2種類ある。第1は、狂犬病の獣、犬、猫、ジャッカル、コヨーテ、スカンク、狐、狼などその国によって異なるが、さまざまな野獣に咬まれることである。第2は、洞窟の探検である。洞窟の中には、狂犬病のコウモリがすんでいて、その唾液が霧のようになってたちこめていることがある。それを吸いこんでうつるのだが、この場合には、獣に咬まれる場合とちがって、いつうつったのか気がつかぬことがある。とくに中南米の洞窟で感染することが多い。

これまでは、狂犬病の予防接種は、咬まれてから、つまり感染の機会があってから注射を開始するという極めて変則的な予防接種であった。これは狂犬病ワクチンが、ウサギやヤギの脳や脊髄を用いた極めて副作用の多いワクチンであったので、狂犬病になるかもしれないという状況にでもならなければ到底使えないものであった。しかし、病原体が体内に侵入してからワクチンを注射しても間に合わないことも少なくなかつ

た。

最近になって、培養した細胞で狂犬病ウイルスを増殖させ、さらにウイルスだけを精製したワクチンができ、以前のような狂犬病予防接種後脳炎が起きる危険はなくなった。そこで、狂犬病流行地へ出かける場合は、出発前に一週間間隔でワクチン1ミリリットル宛2回、皮下に注射していくことが望ましい。できれば、その後6カ月たったところで、さらに1回1ミリリットルのワクチンを注射すれば、なおさら安全であろう。

今のところ、まだ経験が少ないので、前に述べた予防注射をして出かけた先で狂犬病獣に咬まれたら、どうすべきかはっきりしていないが、やはり7回位は追加の注射をしたほうが安全であろう。

ワクチンは凍結乾燥がしてあって、1年位は熱帯の室温に放置してあっても効果は変わらないが、できれば、根拠地に一括して冷蔵庫に入れておくことが望ましい。

狂犬病は一旦発病すれば、まず助からない（これまで助けたという報告が3例あるが）、症状は咬まれた部位の激痛、発熱、脳症状で7日以内に死んでしまうことがある。獣に咬まれたときは、とにかくその獣を捕えて、診断することが必要である。そのままほっておいて、日本へ帰って相談しても、人の体に病原ウイルスが侵入しているか否かは、発病するまでは分らない。何よりも咬まれぬように気をつけることが大切だが、咬まれたら徹底的に追いかけて捕えること。捕えたらそのまま飼っておき、7日間観察して何もなかったら心配ない。その間に多少なりとも暴れたり、食欲がなかったりしたら獣医師と相談して解剖して調べること。ただし、タイのような進んだ国でさえも、犬の診断をしてくれるところは、バンコックに1カ所あるきりである。

また、咬れたときの注意はとにかく洗うことである。石鹼があったらそれを使うほうがよいが、川が流れているならば、石鹼を取り宿舎まで戻ることではなく、直ちに川の水で傷を洗うほうがよい。病原ウイルスは、唾液に混っているのだから、傷の中の唾液を全部洗い流すつもりで痛くとも我慢して洗うことである。消毒とか、縫合とかいう傷の手当はその後でよい。そして傷の手当をして貰うと同時にワクチンの第1回目を注射してもらうこと。

1. 破傷風とガスエソ《壊疽》

破傷風菌もガスエソ菌も似た細菌で、土の中にいて、傷から入る。そして傷口が汚

れていて、他の化膿菌が増殖したり、その周辺の組織が腐ったりして、酸素がなくなると盛んに増殖し、毒素を造りだし、その毒素のために病気が起きる。だから、ある程度汚れた傷は、まずきれいにするのが第1であって、むやみと縫いつけて閉じてしまったりしてはいけない。抗生物質はこれらの病気の症状が起きてしまったからは効力が少ない。傷を受けた時点で用いることは意味がある。抗生物質はこれらの菌が増殖するのを抑えるし、それにもまして他の化膿菌の増殖を抑えるから、化膿して傷のなかの酸素が消費されることを防ぐ。酸素が充分にあれば、これらの菌は増殖できず、酸素を産生することができないからである。

破傷風

まず予防接種をしておくこと。破傷風菌は傷の中で増殖するだけで、他に拡がることはしない。しかし、そこで毒素を造りだして、その毒素が体じゅうに拡がって、とくに神経にとりついて強直性けいれんをおこす。体が一枚板のようになって反り返える。この毒素をとり出して精製ホルマリンで処理し、毒素としては働かないが、免疫原性はあるようにしたものがトキソイド、つまり破傷風ワクチンであり、他のワクチンに比べると精製度が高くて殆ど結晶状にまでなった精製蛋白である。この効力をさらに高める目的でミョウバンで蛋白を沈澱させたものをミョウバン・トキソイドと呼んでいる。この沈降トキソイドを1カ月おきに3回、その後6カ月で1回注射すれば、後は10年に1回の追加免疫で一生涯破傷風は防ぎうる。

汚ない傷を受けたときは、念のため、沈降トキソイドでない精製トキソイドを追加注射する。そのほうが沈降トキソイドより効きめが早いからである。

ガスエソ

ガスエソに対しては破傷風トキソイドのようなものはない。だから、交通事故などで汚ない傷を受けたときは、抗生物質をたくさん用いて化膿を防ぎ、できるだけ傷を開け放ち、ガスエソ抗血清を投与する。

g. 下痢

不眠、精神的緊張からくるいわゆる精神性下痢からコレラの下痢に至るまで、原因はさまざまだが、何れにしても、水分の多すぎる便が出る。腸の蠕動が活動すぎて食物があまりに早く腸管を通過するため、腸で充分に水分を吸収できない場合も下痢となる。

それとは別の下痢もある。コレラ菌の毒素をウサギの小腸腔に注ぎこんで、その後をしばっておくと、腸壁からどどん氷が出て、小腸はばんばんに膨れる。この場合は、コレラ毒素の作用で健康時とは逆に体の水分が腸の壁をとおして腸管腔に流れだすのである。

大腸カタル、細菌性赤痢、アメーバ赤痢などは、この動きの促進と毒素による脱水の両方が働く。炎症が起きて、刺激されると蠕動が盛んになり、粘液などの形で水分が余分にでてくる。

発熱にしろ下痢にしろ症状であって病気ではない。つまり恐ろしいこともあれば、放っておいてよいこともある。問題は何で下痢を起こしたかというその原因である。

神経性下痢は自分でよく過去の経験を検討すればわかる。この場合は便の回数は余り増えない。そして水様便が出たあとは、さっぱりする。その色もほぼ正常である。こんな場合はゆっくりと1日休むよりも他に方法はない。

同じような水様便でも、吐き気、嘔吐を伴ってくると重大である。こうなると、様々な食中毒、ところによってはコレラも考えなくてはならない。また発熱を伴った場合にはサルモネラ感染症、とくにパラチフスが考えられる。これらの場合はいずれも入院が必要である。

下痢のいまひとつの型は、シブリ腹と呼ばれる症状を特徴とするもので、細菌性赤痢、アメーバ赤痢など、いずれも大腸に病変があるものがこれである。この場合には、糞便の検査が第一である。

新しい土地、とくに熱帯、亜熱帯の新しい土地に入りこんだ人々が、「水あたり」とでも言うよりほかにはないような下痢をすることがある。2〜3日から1週間くらいで何となく治るものだから、はっきりした病原体もつかまらぬままである。この場合は、1週間位そのまま様子を見ることができる。

h. 肝 炎

薬（例えば、痛み止め）、アルコール飲料で肝炎を起こすこともあるが、ここではウィルス肝炎だけを説明することになる。

ウィルス肝炎としては、輸血、出産その他、とにかく血液を注射されたり、浴びたりして起きるB型肝炎（血清肝炎）と腸チフスのように口から入る伝染病であるA型肝炎、未だ正体のはっきりしないC型、その他ウィルス性の肝炎がある。

この中で最も普通なのはA型肝炎で、これは水や食物によってうつる。肝臓で殖えたA型ウィルス肝炎は糞便に混って排泄されるので、A型肝炎の予防は糞便で汚されたものを口にしないことから始まる。

ワクチンも、有効な抗生物質もない現在では、ヒトの血液からγ-グロブリン（つまり抗体）だけの精製濃縮して造った製品を注射して予防するのだが、それは4～6ヶ月位しか有効期間がない。なによりもまず糞便で汚されたものを口にしないことが第一である。

肝炎になると、先ず前身倦怠、ひどいだるさを訴える。尿が褐色を帯びてくる。そして目玉が黄色くなる。この間、ほぼ2～3日、軽い発熱を伴うこともある。

病院で急性ウィルス性肝炎の診断につかうのは、GOT, GPT, と呼ばれ、肝細胞のなかにあるはずの酵素が血液のなかに出ている量を測定する検査法である。肝細胞がウィルスに壊されると、そのなかのGOT, GPTが血液のなか流れだす。その量が多ければ多いほど肝細胞の壊れ方が激しいことになる。健康なヒトでも新陳代謝で少しずつは壊れるので、50以下の値は正常とみなしてよい。急性肝炎の場合はいきなり100以上に上がることが多い。アルカリフォスファターゼ値*も同じように上がることがあるが、この酵素は胆のう炎や胆石などの時より高い値を示す。

診断としては、GOT, GPT, それに血清の黄色さ（黄疸指数と呼んでいる。7まで正常）を調べて貰えば見当はつく。

A型肝炎はB型（血清）肝炎にくらべると、多少経過が良いことが多い。だが、末だ分らぬことの多い病気なので、慎重に考えて、まず安静を守る。GOT, GPTの500以上が7日間続いたら、入院、あるいは帰国を考慮しなければならない。この場合に現地入院するか、帰国するかは、現地の状況次第である。とにかく、ゆっくり休めて、おいしい物が食べられるところに移らなければならない。アルコールは絶対にいけない。

今のところ、γ-グロブリンを注射するのが唯一の予防法であるが、これとて絶対的なものではないから、赤痢、腸チフスと同じように、汚れたものを生では口にしないことが、最も大切な予防法である。歯を磨く時に使う水にも注意せよと欧米の人

* アルカリフォスファターゼの正常値は、検査法による差が大きいから、その病院の検査法による正常値をきいておくこと。

は言っている。

〈療養ガイド〉

	期 間	インデックス	生活上の注意
静 養 期	発病後1カ月ないし、1 カ月半	GPT 数値が50 以上にな るまで	食後横になって休む 入浴は週1回位、入浴後 はすぐ休む
観 察 期	医師から回復と診断され てから8週間	2週間に1度の検査で GPT 数値の50以下が4 回続くこと	過労しないように、アル コール厳禁
帰国療養	医師が快復と診断しない で3カ月になった場合	トランス・アミナーゼ値 (GOT, GPT)とアルカリ フォスファターゼ値が正常 値範囲におさまらない	

肝炎の際の必要検査項目

ZTT, TTT, GOT, GPT, アルカリフォスターゼ, ビリルビン, プロトロビン
(正常値も忘れずに)

なお、肝炎で医者に
かかる時、右表を
持参し、表にある項
目の検査をしてもら
うことが望ましい。
その結果をJOCV 事
務局に各派遣国連絡
事務所を經由して知
らせることも忘れず
に。

Name:		Date:
Complaints		
Jaundice		
Loss of Appetite		
Nausea		
General Malaise		
EXAMINATION:		
Tatal Bilirubin		n.v.*
SGOT		n.v.
SGPT		n.v.
Alkaline Phosphatase		n.v.
Protrombin		n.v.
Note		
Sign. _____		

*n.v.: Normal Value

i. コレラ

一般コレラは流行の形をとる。コレラ菌を飲みこんでも典型的な発症があるのは、その15パーセント程度で、かなりの率の不顕性感染者（感染しても型どおりの発病がなく、中には症状を現わさず健康人と変わらないものもある）がいると考えなければならない。したがって、流行地での飲食は十分に注意をしなければならない。生もの、生水は一切口にしないこと。

コレラの典型的な症状は、大量の水様下痢である。それに嘔吐が加わるので、脱水、そしてショックがくる。水が足りなくなるとポンプ（この場合は心臓）が空回りをする。1日の下痢量は5～8リットル、ときに10リットルにも及ぶ。人の体には体重の13分の1程度の血液が流れているので、コレラになればたちまち血液の濃縮がおきる。

コレラの特徴は、発病後、数時間で運命が決定してしまうことにある。そして、この10リットルの水様下痢便の1ミリリットル中にコレラ菌が $10^7 - 10^8$ 個がいるから、1人の病人の撒きちらす菌数は恐ろしいほど多い。

コレラの場合は、1人だけということは余りないので、自分がコレラになったら、どこにどう連絡するかを考えて置く必要があるし、そうしておかなければならない。

病院では、重症例とみたら、乳酸リンゲル液を静脈内に注入し、少し落ち着いて吐気が止ったら、1リットルの飲料水中にブドウ糖20グラム、食塩4グラム、重曹4グラム、塩化カリウム1.5グラムを溶かしたものを飲ませる。塩化カリウムを除けば、どれもありふれた薬品である。軽症の場合（下痢が5リットル以下の場合）には、たいてい口から飲めるので最初から静脈内注入はしないで治療することが多い。

抗生物質としてはテトラサイクリンを250ミリグラム宛6時間おきに3日飲むと、下痢が早くとまり、菌が陰性になるのを助けるが、命を救うのは水の供給であって抗生物質ではない

j. 赤痢

赤痢とは血液の混った下痢便がでて、しづり腹を訴えることである。その病原体がなんであっても、そのような症状が出たら赤痢と呼んで良いのだが、しばしば出遭うのはシゲラ（志賀潔博士のShigaから来たShigella）属の細菌による細菌性赤痢と赤痢アメーバによるアメーバ赤痢とである。両方とも人が主要な宿主である。近頃、日本に輸入される実験用の猿が赤痢になっていることが多く、輸入された猿はその点

で恐れられている。しかしジャングルに棲んでいる猿は赤痢菌も赤痢アメーバも持っていない。捕えられて港から送り出されるまで飼育されているところで人間からうつされるのである。つまり、猿の輸出をしているインド、マレーシア、シンガポール、インドネシア、タイ、ラオスなどの町には、赤痢が拡まっていると考えなければならない。

一般的に、アメーバ赤痢のほうが、腸症状は軽く、逆に全身性の重篤な症状を起こすことがあると言えるが、最終的には病原体を検出して判断するしかない場合が多い。

アメーバ赤痢

アメーバの侵人をうけた者の10パーセント位が赤痢症状を現わすだけである。しかし、症状を現わさないから大丈夫というわけではなく、糞便の中に病原体が排出されるので、他の人には危険であるし、自分自身の体内でも腸から血管、リンパ管を介して他の臓器、とくに肝臓に拡がって膿瘍を起こす。ある統計では、5250人のアメーバ症の患者のうち37%までが肝膿瘍があった。

したがって、アメーバ侵襲地帯で活動する場合には、定期的に糞便の検査（この場合は培養が難しいので、顕微鏡でみるだけでよい）をしなければならない。このとき一番大切なのは、材料が新しくなければいけないことで、少しでも冷たくなったり乾いたりすると、アメーバは死んで判定できなくなる。

アメーバ治療薬は、メトロニダゾール（商品名フラジールFlagyl）である。肝膿瘍が重くなると外科手術を必要とするので帰国しなければならない。

中南米諸国では、アメーバ赤痢が報告の義務のある病気となっているので、その数が把握しやすい。

1971年のアメーバ発生頻度

国名	発 生 数	人口10万あたり患者数
アルゼンチン	1,177	5.4
コロンビア	72,053	
コスタリカ	2,105	156.6
エルサルバドル	2,056	75.6
ジャマイカ	31	1.8
メキシコ	35,791	93.2
ニカラグア	462	30.3
パナマ	2,364	49.1
ドミニカ	1,235	37.0
ベネズエラ	25,335	458.5

細菌性赤痢

赤痢菌には4種類あって、戦前に疫痢を起こした乳幼児死因の主たるものであった志賀菌は、今まで日本にも外国にも余り見うけられない。どこの国でも多いのは、フレキシネル菌で、日本などでは、ソネ菌と呼ばれる。更に病原性の弱い菌が多い。同じ細菌性赤痢といってもさまざまで、病原体をつかまえないと本当のところは分らない。赤痢菌の検出は細菌培養のできるところならどこでも出来るものだが、大腸菌との区別が難しいことがある。いずれにしても、細菌性赤痢は、粘血便が出たり、全身倦怠が強かったりして不愉快な病気ではあるが、腸管外に拡がることは少ないので、安静と抗生物質投与で治療できる。

抗生物質に対しては、赤痢菌は耐性のパターンが違うが、今のところ、アミノペニシリン投与で、だいたいの赤痢は治療できるようである。

k. 腸チフス

インドネシア、フィリピン、インド、その他の東南アジア諸国で熱が出たら、先ずマラリア、腸チフス、ウイルス感染症を考える。ただし、腸チフスについては、イタリアでの発生数は日本の70倍、フランス、スペインでは10倍であるので、あの辺で帰国途中、魚貝類とくに生ガキを食べて熱が出たら、先ずチフスを考えなければならない。

腸チフスと気付いたキッカケを調べてみると、高熱(38℃以上)が盛いて、バラ疹(バラ色の発疹)が出るというのがいちばん多い。自分で見るのは無理だが、友人に丁寧に体じゅうを見て貰うだけでも、ある程度診断のつく可能性はある。

初期には、菌が血液から分離しやすく、2~3週間以後になると糞便から分離される。日本国内での腸チフスが少ないので、医者が有熱患者をみたとき、なかなか腸チフスを思いつかぬため、診断確立まで日がかかって、平均20病日くらいで診断がついている。もっとも、腸チフスの常在地の医者ならもっと早く気がつく。発熱38℃以上で、脈拍が70以下というのも腸チフスの特徴である。

腸チフスでこわいのは、腸出血、あるいは腸の穿孔である。もともと腸チフス菌は小腸のリンパ組織、とくにハイエル板と呼ばれるところで盛んに増殖する。そこから血液に流れ込んで発熱の原因になるのだが、後半になると、腸の病変がひどくなって腸出血をおこしたりする。こうなると、外科と内科の緊密な連絡が必要だから設備の

良い病院に入らなければならない。この場合、絶対安静、絶食が必要となるから日本へ還すわけにはいかない。

初期ならば、クロラムフェニコール（クロマイ）が効く。クロマイは副作用があるので販売を禁止している先進国が多いが、東南アジア、中南米諸国では許可されている。試験管内実験では、アミノベンジルペニシリンも同様の効果があるが、実際に用いると、クロマイのほうが有効なようである。

腸チフスのワクチンは、水系感染つまり河の水を飲んでかかる場合などには多少有効であるが、食物から感染する腸チフスには効かない。

したがって、この場合にも注意するのは、口から入る感染ということになる。

Ⅳ 環境と健康

1. 高温気象による疾患は次の2つである

a. 熱けいれん（激症暑気あたり）

最も熱けいれんをおこしやすいのは、健康な人が暑熱下で働きすぎた場合である。患者はびっしょり汗をかき、痛みで体を2つに折りまげてる。痛みは腹部の鈍痛や腕、下肢のびりびりした感じから、腹部、腕、下肢の激しいけいれん痛までさまざまである。

熱けいれんの治療のコツは、塩分の補充であるが、食塩錠剤をそのまま与えると嘔吐がひどくなるので、用いてはならない。患者を日かげか、涼しい部屋に移して塩気のある飲みものを与える。1ℓ強のレモネードに茶さじ1杯の塩を入れた液が、口あたりがよいし効果的である。

けいれんを和らげようとして筋肉をマッサージしてはいけない。患者は塩分の補充ですぐによくなるはずである。

熱けいれんをおこした者は、仕事に戻る前に、少なくとも12時間は休まなくてはならない。

b. 暑気あたりと日射病（熱射病）

この2つは、応急手当の最も重要な部分で分けられている。

暑気あたりは安静にしているだけでよく、通常生命にかかわることはない。日射病は稀だが、明らかに生命を危くするもので、直ちに対策を講じなければならない。

両方とも患者は虚脱状態になる。暑気あたりでは、皮膚が蒼白で冷たくしめっており、体温はほぼ正常である。しかし、日射病では皮膚が赤く、さわるとひどくあつく、しかも乾いており、体温は上昇して41℃以上を示すこともある。両者とも、よい状態でも意識がおかしいか、多くは意識がなくなっており、ことに日射病には意識喪失がある。

暑気あたりの最初の治療は熱けいれんと同じである。患者を涼しい所へ移し、塩気の多い飲みものを与える。また衣類をぬがせて冷水やアルコールにひたした布で体を冷やす。

通常患者はすぐに気分が良くなってくるが、老人や慢性疾患のあるもの、消耗のひどい場合などでは、必ず医師にみてもらうこと。どんな患者でも2～3日は注意して休ませ、その間、食事に塩分を多くとらせる。

もし患者の体温が著しく上昇したら、それは多分（熱）射病であり、すぐ体温を下げる手段を講じなければ、大変なことになる。救急車を呼び、衣類を剥ぎ、何でもよいからあるもので体を冷やし始める。冷水や氷ぶろにつけるのが一番良いが、氷片や氷バックでマッサージする方法が实际的で、患者の腕や下肢を氷片でこするようにする。

できれば、直腸温を読みとっておく。そうすれば救急隊員や病院の医師は、体温が下がってきたかどうかを知ることができる。患者をできるだけ早く病院の救急室に送り込み、専門家に任せるべきである。

もし病院や専門の救急施設から遠く離れている場合にも、これだけは忘れてはならない。患者の体温を下げはじめたら、水分喪失を捕うことである。（日（熱）射病では塩分喪失はそれほど重大ではない）。体温が下がっていると思ったら、患者にうすい毛布をかけて、体温下降による悪感戦慄や、ひどいけいれんをおこさないように注意する。できるだけ早く医師の指示を受けるようにする。腎臓や神経の障害は初期には現われてこないで、日（熱）射病の患者は必ず入院させて、何日も観察しなければならない。

2. 高地病

高いところ、つまり酸素の少ないところに生れ育った人たちは、赤血球の数が600万（正常人は500万～450万）にもなって、少ない酸素を効率よく各組織に送りこんでいる。ところが、それまで平地に住んでいた人が急に高いところに行くと、酸素欠乏のため各臓器の新陳代謝が不活発となり、頭痛、全身倦怠、浮腫が生ずる。

この場合、急に低地まで降りるのは危険で、心不全を起こすことがある。頭痛、吐気などをこらえながら、ごくゆっくりと低地まで（1日位かけて）降りて安静を保つ。

利尿剤を用いると浮腫は消えるが、酸素不足がなくなった訳ではないので、一見なおったように見えるが、逆に災いとなって心不全を起こすこともある。濫用は慎まなければならない。

3. 精神衛生

人間が、心と体をもっていて、その心と体は別なもので、心の病気が精神病で、体の病気が肝炎や心臓病であると一応は説明するのであるが、実際はそうではなくて、心の動悸、胃痛となって現われるし、不眠が続けば「うつ病」のような状態になる。風俗習慣のちがう異郷で張りきって仕事をしているときに、ふと忍びこむ抑うつ状態と言われるものは大部分このようなもので、帰国して郷里の風景をみたり、あたたかい吾が家で休息したりしているうちに、なんのことなく治ってしまう。

このような状態を精神病ときめつけることは、本人の将来のために不幸なことであるので、精神身体医学（これまで述べてきた心と体の間の漠然とした分野をこう呼んでいる）のあらましを述べておこう。

Ⅱ. 精神身体医学

この分野は、ドイツのフロイトとロシアのパブロフの研究を基礎にして発展してきたもので、今なお流動的な、進歩しつつある分野である。いずれにしても心と体の間には深い関係があるという立場をとるが、その関係の仕方については様々な考え方が以前からあったし、今でもある。

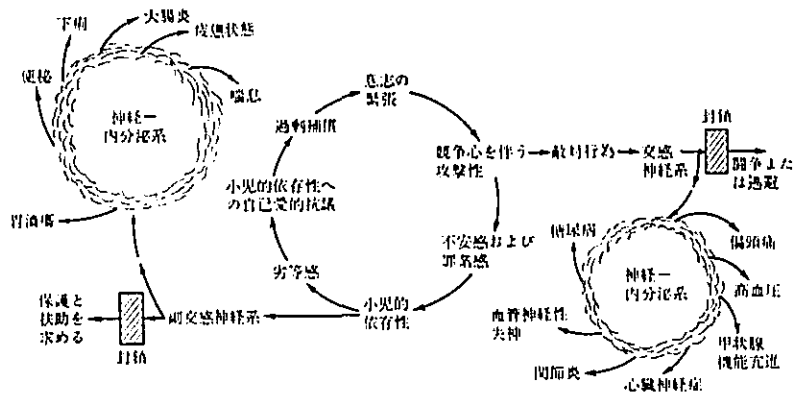
たとえば、なんについても他人と競争して勝ちたい。そして勝ったらそのことを誇示したい。従って常に時間に追われて仕事をしている。そのような人は、血圧が高く、コレステロールが多くなるというように、その人の気質と体の病気との間に相関関係があると考えるのが第1の考え方で、必ずしも正しいとは言えないが、現在でも残っている。

第2の考え方は、ある種の精神的葛藤と発生する病気との間に相関があると主張するものである。その主唱者であるアレキサンダーの表を掲げておいた。

斗かわなければならぬという決意と、苦しいから逃げだしたいという心情との間をゆれ動くそのような心理的葛藤の場合は、交感神経を介して高血圧、心疾患、糖尿病などを起こし、誰かに頼りたいという心と自主独立でいかなければならないという心理的葛藤は、副交感神経を介して胃潰瘍、気管支喘息を起こすとするのである。

第3の最近の考え方は、寒さ、暑さという外の環境も、緊張や不安といった精神的ストレスも、人間の体に作用して、アドレナリンという物質を放出させたり、内分泌腺に影響したりする点では似たようなものであると考える。そして目下の課題は精神

的緊張で惹きおこされる体の中の化学変化とは一体どんなものかという点にしばられている。



心因と自律神経系と心身症

(Alexander, F.: Psychosomatic medicine. W.W. Norton Co., New York, 1950.)

b. 精神身体症

説明の仕方は様々であるが、異国で1人暮すことが、大変な精神的緊張であり、多くの人たちが、精神身体症と呼ばれる症状を起こすことは事実である。

その第1の症状は、自分のことがむやみと気になる。当初は物珍らしかった風景もしばらくすると、何の興味もそそらなくなり、私は駄目だとか、俺は偉いとか、とにかく自分のことばかりにこだわる。そして自分に対するその人間自身の評価が日によってひどく変る。

このように、自分のことばかりを眺めてみると、必ずどこか具合の悪いところが見つかる。それも、心悸亢進、つまり心臓がドキドキして苦しくてたまらないが、病院へ行くと黙っていても治るとか、眠ったような気がしないといった他人には分りにくい症状がでる。

そのようなことで他人に引け目を感じたり、逆にこの症状さえなければあんな奴には負けない筈だとか、始終よくよく考えこむようになる。こうなると殆どあらゆる症状を訴える可能性がある。

このような症状は決して本当の精神病、例えば分裂病ではない。分裂病の場合は傍の者が心配するだけで本人は別に悩まない。うつ病と精神身体症とは似たところもあ

るが、うつ病の人はたいてい以前にも、そのような経験があることが多い。うつ病の場合も何もしなくなるが、何とかしなければならぬという焦燥感はそれほど強くなくて、やはり他人の目からみて何であれほどぐうたらにしているのかという感じをいだかせることのほうが強い。いずれにしても、精神病かどうか自分で考えることは余り意味のないことで、考えるべきことは、自分が精神身体症かどうか、そうだとしたらどうやって治すか、また友人同僚が精神病になったらどう扱うかの2つである。

V 表現法，用語集

◆内科にかかった時に

痛む

彼は胃が痛いといっています。

He has a stomach-ache.

Il a mal a l'estomac.

30分おきにきりきりと胃が痛みます。

Every thirty minutes I have a biting pain in my stomach.

Chaque trente minute j'ai une douleur mordante dans l'estomac.

急に胃が痛みだしました。

My stomach has suddenly begun to hurt.

Mon estomac a subitement commencé à faire mal.

彼女はがんこな前頭部痛で入院しています。

She was admitted to the hospital because of persistent frontal headaches.

Elle fut admise à l'hôpital à cause de persistants douleurs au front.

頭がずきずきします。

My head is throbbing.

J'ai des bourdons dans la tête.

咳をするとどがやけるようです。

My throat burns when I cough.

J'ai la gorge qui brûle quand je tousse.

のどは痛いし、関節が痛む感じですよ。

I have a sore throat, and my joints ache.

J'ai mal de gorge et mes articulations font mal.

はなが出ます。

I have a running nose.

Mon nez court.

鼻がつまります。

My nose is stopped up.

Mon nez est bouché.

せきが出ると止まりません。
I can't stop coughing.
Je ne peux pas m'arrêter de tousser.

せきが出るたびにのどがひりひりします。
My throat burns when I cough.
Quand je tousse ma gorge brûle.

せきをすると、たんが出ます。
I cough up phlegm.
Je tousse gras.

のどがはれて、しゃべりにくいです。
My throat is swollen. It's difficult to talk.
J'ai la gorge enflée. Je peux à peine parler.

かぜだと思っていたのですが、熱がなかなか下りません。
I thought I had a cold, but the fever won't go away.
Je pensais n'avoir qu'un rhume, mais la fièvre ne veut pas me quitter.

いきをすると痛みます。
It hurts me to breathe.
Ça fait mal quand je respire.

血のまじったたんが出ます。
I have coughed up blood (bloody phlegm).
J'ai craché du sang.

たんはどんな色ですか
What color is the phlegm ?
De quelle couleur sont les flegmes ?

せきこんだり、息切れがしたりします。
I have a coughing spell and I get short of breath.
J'ai des accès de toux et je suis à bout de souffle.

微熱がついています。
I have a slight fever.
J'ai un peu de température.

熱で全く弱りました
I am completely overcome by the fever.
Je suis éreinté par la fièvre.

少し疲れているようです。
I am a little tired.
Il me paraît que je suis un peu fatigué.

全身がだるい。
My whole body feels tired.
Tout mon corps se sent las.

熱っぽいですが、熱を計っていません。
I feel hot, but I haven't taken my temperature.
J'ai chaud, mais je n'ai pas pris ma température.

扁桃腺がたびたび腫れます。とってしまった方がいゝですか。
My tonsils are often swollen. Would it be better to have them removed?
Mes amygdales sont enflé. Serait-il mieux les extirper?

熱は摂氏38°位です。
I have a fever of about thirty-eight degrees centigrade.
J'ai presque trente-huit de fièvre.

私はリュウマチ熱です。
I have rheumatic fever.
J'ai la fièvre rhumatismale.

体中がチクチクします。
I have prickly feeling all over the body.
J'ai l'impression d'avoir des aiguilles plein le corps.

頭痛がして、微熱があります。
I have a headache and a slight fever.
J'ai des céphalalgie et un peu la fièvre.

◆外 科

突然ギクンときました。
Suddenly I felt my back snap.
Tout à coup je sentais comme si mon dos craquait.

腰が痛くて動くことができません。
The lower part of my back hurts so much I can't move.
Les bas de mon dos me fait tellement mal que je ne peux pas bouger.

寝ちがえて首がまわらないのです。
I got a crick in my neck while sleeping.
J'ai attrapé un torticolis en dormant.

肩がこっています。
My shoulders are (shoulder is) so stiff.
Mes épaules sont ankylosées.

ひどく痛んで背にとどきません。
It hurts so much I cannot reach my back.
Ça fait tellement mal que je ne peux pas atteindre mon dos.

足の微痛で彼はうなっています。
He is groaning with pain in his feet.
Il grandit avec du mal aux pieds.

痛みが脚に走ります。
The pain shoots to my legs.
La douleur me lance les jambes.

足の指のつけ根にやけ火ばしをさされたような痛みです。
Pain as if a red-hot knife were piercing his toes.
Une douleur comme si un fer rouge lui perçait.

足の指のつけ根をのこぎりでひくような痛みです。
Pain as if someone were sawing off his toes.
Une douleur comme si on lui sciait les orteils.

肛門のまわりがかゆくて仕方がありません。
The area around the anus is so itchy I can't stand it.
La zone autour de l'anus me démange tellement que je ne le supporte plus.

朝が一番痛みます。
It hurts the most in the morning.
c'est le matin que ça fait le plus mal.

痛くて眠れません。
I can't sleep because of the pain.
Je ne peux pas dormir à cause de la douleur.

昼間体を動かしている時は、痛みを忘れていることもあります。
When I am moving about during the day, I often don't notice it.
Pendant le va-et-vient du jour, souvent je ne m'en aperçoit pas.

いつから痛み出したのですか？
Since when has he had that pain ?
Dequis quant a-t-il cette douleur ?

まだ痛みますか？
Do you still feel pain ?
Sentez-vous encore la douleur ?

足にさわると痛いのですか？
Does it hurt when you touch your foot ?
Ça fait mal lorsque vous touchez le pied ?

痛い
Ouch ! It hurts !
Aye ! Ça fait mal !

いつ一番痛みましたか。
When did you feel the worst pain ?
Quand sentiez-vous la plus forte douleur ?

一週間すればよくなるでしょう。
You probably will feel much better in about a week.
Probablement vous sentirez vous mieux dans une semaine.

だいぶ痛みは治まりました。
The pain has mostly gone away.
En général, ça ne fait plus mal.

自発痛 pain douleur	喉のうずき sore throat mal de gorge
圧痛 tenderness tendresse	痙痛 colic colique
激しい severe, sharp grave, aigu	ずきずき throbbing bourdonnement, palpitation
時々起る occasional de temps en temps	きりきり shooting lançant
夜間の nocturnal nocturne	もみつぶすような grinding grinçant
間歇的な intermittent intermittent	ずきずき smart douloureux
しめつける girdle oppressive	ナイフで切ったような knife cut-like comme un couteau
鈍い dull obtus	恒常的 constant constant
刺されるような piercing, stabbing perçant, lancinant	電撃的 lightning foudroyant
さくような tearing, splitting déchirant, à fendre la tête	広範囲 extensive extensif, étendu

けいれん様
crampy
crampe

ちくちく
stitch
suture

やりきれない
excruciating
écrasant, très forte

ずきずき
twinge
douleur brusque

うずうずチクチク
prickling
démangeaison

(日本語)	(英語)	
青味があった	bluish	blú(:)if
アキレス腱	Achilles tendon	əkli:z téndə
悪臭	stench	stentʃ
悪臭のある	fetid	fétid, fi:tid
悪性の	malignant	mə'liɡnənt
あくび	yawn	jə:n
悪夢	nightmare	náitmeə
握力	grasping power	grá:spɪŋ
握力計	hand-dynameter	hænd daɪnámítə
足	foot	fut
足背	foot back	fut bæk
足裏	foot sole	fut sɔl
足首	ankle	æŋkl
悪化する	aggravate	ə'ɡræveɪt
圧迫	pressure	préʃə
圧迫感	sense of pressure	sens əv prɛʃə
後の	posterior	pɔstɪəriə
アルコール中毒	alcoholism	əl'kɔhəlɪzəm
アレルギー性鼻炎	allergic rhinitis	əl'ɜ:dʒɪk raɪnítɪs
暗褐色	dark brown	da:k draʊn
安静	rest	rest
胃	stomach	stámək
胃炎	gastritis	ɡæstráɪtɪs
胃潰瘍	gastric ulcer	ɡástrɪk úlʃə
胃下垂	gastroptosis	ɡæstrɔptóusɪs
胃カタル	gastric catarrh	ɡástrɪk kətá:
胃の	gastric	ɡástrɪk
胃液	gastric juice	ɡástrɪk dʒu:s
息	breath	breθ
息切れ	breathlessness	bréθlɪsnɪs
	short of breath	ʃɔ:t əv breθ

(仏語)

bleuâtre	bløa:tr
tendon d'Achille m.	tãdõ dachile
puanteur	pyãnr
fétide	fetid
malin (maligne)	malē, -i
baïller	baje
cauchemar	kãfma:r
force d'étreinte	fors détrint
dynamomètre m	dinamometr
ped m.	pje
l'arrière du pied	lãryèr du pje
plante des pieds	plan de pje
cheville	sheviy
aggraver	agra(a)ve
pression	presjõ
sensation de pression	sãsasjõ de presjõ
postérieur	postèrjoe:r
alcoolisme m.	alkø[o]lism
allergique rhinite f.	alerjik rinit
drun foncé	brun fonsé
repos m.	rãpo
estomac m.	estãma
gastrite f.	gastrit
ulcère peptique m.	ylse:r peptik
gastroptose f.	gastroptø:z
gastrite f.	gastrit
gastrique	gastrik
suc gastrique m.	syk gastrik
souffle m.	sofl
essoufflement m.	esufflamã

(日本語)	(英語)	
意志	will	wil
意識	consciousness	kɔːnfəsnɪs
意識不明	unconsciousness	ʌnkɔːnfəsnɪs
痛み	pain	peɪn
遺伝	hereditary	hɪrɪdɪtəri
いびき	snore	snoʊ
異物	foreign body	fɔːrɪn bɔːdi
いぼ	wart	wɔːt
陰茎	penis	pɪːnɪs
インターン	intern	ɪntəːn
院長	director of the hospital	dɪrɛktə əv ðə hɔːspɪtl
咽頭	pharynx	fəːrɪŋks
咽頭炎	pharyngitis	fəːrɪndʒaɪtɪs
咽頭科	pharyngology	fəːrɪŋgɔːlədʒi
咽頭痛	sore throat	səː θraʊt
陰部	genital region	dʒɛnɪtl riːdʒən
ウイルス	virus	vaiərəs
うがい剤, うがいする	gargle	gɑːgl
打ち傷, あざ	bruise	bruːz
うつ病	depression	dɪprɛʃən
うつ状態	depressive state	dɪprɛsɪv steɪt
腕	arm	ɑːm
うなじ	nape	neɪp
膿	pus	pʌs
運動障害	motor dysfunction	məʊtə dɪsʌŋ kʃən
運動麻痺	motor palsy	məʊtə pɑːlzi
永久歯	permanent tooth	pəːmənənt tuːθ

(仏語)

volonté	vòlontè
conscience f.	kōsjā:s
inconscient m.	ēkōsjā
douleur f.	du:ar
hérédité f.	ereditè
ronfler	ronflé
corps étranger f.	kō:r etrā:ʒe
verrue f.	ver'y
penis m.	penis
interne	ētern
directeur de l'hôpital	dirèktōar de lopitāl

pharynx m.	farē:ks
pharyngite f.	farē:ʒit
pharyngologie f.	farēgoloʒi
pharyngalgie	farēalʒi
région génitale	rēʒyon ʒenital

virus m.	viry:s
gargarism (gargariser)	gargarism (gargarize)
contusion	kōtusjō
dépression f.	depresjō
état dépressif	éta depresif
bras m.	bra
nuque	nūk
pus m.	py
dyscinésie f.	dissinési
paralyse motrice	pàralizi motris

dent permanente f.	dā permanā
--------------------	------------

(日本語)	(英語)	
衛生	hygiene	háidʒi:n
栄養	nutrition	nju(:)trifən
栄養失調	malnutrition	mælnju(:)trifən
腋窩 (えきか)	armpit	á:mpit
腋毛	axillary hair	æksiləri heə
炎症	inflammation	infləméifən
横隔膜	diaphragm	dáiəfræm
黄褐色	brownish-yellow	bráunif jélou
黄疸病	jaundice	dʒó:ndis
嘔吐	vomiting	vómitiŋ
黄熱病	yellow fever	jélou fi:wə
悪感	chill	tʃil
おくび	belching	belʃiŋ
怖れ	fear	fiə
おなら	gas	gæs
溺れ	drowning	draʊniŋ
重い, 重篤	serious	síəriəs
蚊	mosquito	mɒski:tou
外陰部	external genitalia	ekstə:nl dʒenitáli
外陰痒疹症	pruritus vulvae	pruəritəs vʌlvi:
外耳	external ear	ekstə:nl iə
外耳炎	otitis externa	outáitís ekstə:nə
外傷	trauma	tráum
回虫	round worm	raʊnd wɔ:m
回復	recovery	rikiávəri
潰瘍	ulcer	ʌlsə
顔色	complexion	kəmpléksjən
顔の	facial	feifəl

(仏語)

hygiène f.	izjen
nutrition f.	nytrisjō
dénutrition f.	denytrisjō
aisselle f.	esef
poil de l'aisselle m.	pwâl de [esef
inflammation f.	ēfla(a)masjō
diaphragme m.	djafragm
brun-jaunâtre	brun-zona:tr
jaunisse f.	zonis
vomissement m.	vomismā
fièvre jaune f.	fje:vr zo:n
frisson m.	frisō
éruption	éryktasjō
crainte f.	krē:ɾ
gaz m.	ga:z
noyer	nwâyé
sérieux	serjō
moustique m.	mustik
organes génitaux externes m.	orgân zenitō êksténn
prurit vulvaire	prurit vülver
oreille externe f.	orej êkstern
otite externe f.	otit êkstern
traumatisme m.	tromatism
ascaride m.	askarid
recouvrement m.	rōkuvrāmā
ulcère m.	ylsɛ:ɾ
teint m.	tē
facial	fɛsjaɾ

(日本語)	(英語)	
下顎骨	mandible	mændəbl
かかと	heel	hi:l
角膜	cornea	kó:nia
かさぶた	crust	krast
下肢	lower limb	lóua lim
火傷, 熱傷	burns	bə:nz
家族歴	family history	fæmili hístori
下腿	leg	leg
肩こり	stiff shoulder	stif fóuldə
脚気	beriberi	béribéri
咯血	hemoptysis	himióptisis
葛藤	conflict	kónflikt
化膿	suppuration	sʌpju réif n
	purulence	pjúərjʊləns
下腹部痛	lower abdominal pain	lóuaəbdómɪnl peɪn
過敏症	anaphylaxis	ænəfilæksis
顆粒	granule	grænju:l
顆粒状の	granulated	grænjuleitid
過労	overwork	óuvəwá:k
乾いた	dry	drai
渴き	thirst	θɔ:sto
癌	cancer	kæns
眼科	ophthalmology	ɔfθælmɔl dʒi
眼科医	ophthalmologist	ɔfθælmɔl dʒɪst
感覚	sense	sens
肝機能テスト	liver function test	lívə fʌŋkʃən test
眼球	eye-ball	ai bɔ:l
環境	environment	ɪnváɪərənment
眼瞼	eyelid	áɪlɪd
肝硬変	cirrhosis of the liver	sɪrɔ:sɪs əv ðə lívə
看護婦	nurse	nɔ:s
感情	feeling	fí:lɪŋ
眼精疲労	eyestrain	áɪstreɪn
	ophthalmoplegia	ɔfθælmoplí:dʒiə

(仏語)

mandibule f.	māḍibyl
talon m.	talō
cornée f.	kōrne
croûte f.	kruu
membre inférieur	manbr inféryœr
brûlure f.	bryly:r
histoire médicale familiale f.	istwa:r medikal familjal
jambe f.	ʒā:b
épaule raide	épole rēd
beribéri m.	beriberi
hémoptysie f.	em ptizi
conflit m.	kōfli
suppuration f.	sypyrasjō
pyogénie f.	pjōʒeni
douleur hypogastrique	dufœr ipogátrik
anaphylaxie f.	anafilaksi
granule m.	granyl
granulé(e)	granyle
surmenéer	syrmāna:ʒ
sec	sek
soif f.	swaf
cancer m.	kāse:r
ophtalmologie f.	ɔftalmolōʒi
ophtalmologiste m.	ɔftalmolōʒist
sens m.	sā:s
examen fonctionnel du foie	egzamē fōksjōnel dy fwa
globe oculaire m.	glōb okyle:r
environnement m.	āvironma
paupière f.	popje:r
cirrhose du foie	sir'oz dy fwa
infirmière f.	ēfirmje:r
sentiment m.	sātimā
surmenage des yeux m.	syrmāna:ʒ de jø

(日本語)	(英語)	
眼精疲労	ophthalmoplegia	əʃθɛlmouplɪ:dʒje
関節	joint	dʒɔɪnt
関節炎	arthritis	a:θraɪtɪs
感染	infection	ɪnfɛkʃən
汗腺	sweat gland	swet glænd
疥癬	scabies	skɛɪbi:z
乾癬	psoriasis	pso(:)raɪəsis
肝臓	liver	lɪvə
肝臓の	hepatic (liver)	hɪpætɪk
肝炎	hepatitis	hɛpətáɪtɪs
眼帯	eye-patch	áɪ pætʃ
浣腸腸	enema	énimə
眼面筋	facial muscle	féɪʃəl mʌsəl
黄色っぽい	yellowish	jelouɪʃ
飢餓	starvation	sta:véɪʃən
	hunger	hʌŋgə
気が重い	heavy-hearted	hévíhɑ:tɪd
期間, 持続時間	duration	djuərəɪʃən
気管支の	broncho-	brɔŋkou
気管支炎	bronchitis	brɔŋkáɪtɪs
気管支カタル	bronchial catarrh	brɔŋkiəl kətɑ:d
気管支喘息	bronchial asthma	brɔŋkiəl əsmə
奇形	malformation	mælfɔ:méɪʃən
奇形, 変形	deformation	di:fɔ:méɪʃən
機嫌	humor	hju:mə
寄生虫	parasite	pə'ræsáɪt
聞えない	inaudible	ɪnɔ:dəbl
蟻走感	formication	fɔ:mikeɪʃən
キニーネ	quinine	kwi:nɪ:n
ギブス	plaster cast	plá:stə kɑ:st
ギブス包帯	plaster bandage	plá:stə bændɪdʒ

(仏語)

jointure f.	ǰwēly:r
arthrite f.	artrit
infection f.	ēfeksjō
glande sudoripare f.	glā:d sydoripa:r
gale f.	gal
psoriasis m.	psorjazis
foie m.	fwa
hépatique	epatik
hépatite f.	epatit
couvre-oeil	kuvr-œj
lavement m.	lávman
muscle facial	myskl fásyál

jaunâtre	zona:tr
faím f.	fē
coeur lourd-abattu	ker lu:r abaty
durée	dyre
bronchial	brōkjal
bronchite f.	brōfit
"	"
asthme bronchique f.	asm brōfik
malformation f.	malformasjō
déformation f.	deformasjō
humeur f.	ymœ:r
parasite m.	parazit
inaudible	inodibl
fornication f.	formikasjō
quinine f.	kinin
plâtre m.	pla:tr
bande plâtre f.	bā:d pla:tr

(日本語)	(英語)	
気分	mood	mu:d
救急	first-aid	fɔ:staid
救急車	emergency	imó:dʒənsi
急性	ambulance	æmbjuləns
狂犬病	acute	əkju:t
胸腺	rabies	reibi:z
胸部	thymus	θaiməs
蛭虫	thorax	θó:nəks
近視	pinworm	pínwɔ:m
緊張	seat-worm	sí:tw:m
筋肉炎	short-sightedness	fó:tsáitidnis
	tension	ténʃən
	myositis	mái sáitis
空腹時痛	hunger pain	hʌŋgə peín
くしゃみ	sneeze	sni:z
口	mouth	mauθ
くちびる	lip	lip
首	neck	nek
くる病	rickets, rachitis	ríkíts, rækáitis
脛骨, むこうすね	shin	ʃín
車酔い	car-sickness	ká:siknis
形成外科	plastic surgery	plástik só:dʒəri
けいれん	spasm	sprɔzəm
外科	surgery	sá:dʒəri
外科医	surgeon	sá:dʒən
血圧	blood pressure	blʌd préʃə
血液型	blood type	blʌd taip
血液検査	blood examination	blʌd igzámineifən

(仏 語)

humeur m.	ymœ:r
urgence f.	yrɔ̃s
ambulance f.	ābylā:s
aigu	egy
rage f.	ra:ʒ
thymus m.	timys
thorax m.	tɔraks
oxyures	okiyres
myopie f.	mjɔpi
tension	tāsjɔ̃
myosite	myōsit
douleur à jeun	dulœ:r ājun
éternuement m.	eternymā
bouche f.	buf
lèvre f.	laevrœ
cou	ku
rachitisme m.	rafitism
tibia m.	tibja
mal d'automobile m.	mal də ɔ(o)tɔmɔbil
chirurgie plastique f.	ʃiryʁzi plastik
spasme m.	spasm
chirurgie f.	ʃiryʁzi
chirurgien m.	ʃiryʁʒjē
pression sanguine f.	presjɔ̃ sāgē
groupe sanguin m.	grup sāgē
examen du sang m.	egzamē dy sā

(日本語)	(英語)	
血管	blood vessel	blʌd vésəl
血便	bloody stool	blʌdi stu:l
結核	tuberculosis	tju(:)bʌ:kju:lóusis
月經	menstruation	ménstru'eifən
月經困難	dysmenorrhœa	dismenəri:ə
月經周期	menstrual cycle	ménstruəl saikl
血清	serum	síorəm
血族, 血縁	consanguinity	kónsæŋgwiniti
結腸	colon	kóulən
血沈	E.S.R. (erythrocyte sedimentation rate)	(iríθrousait sèdiment'eifən reit)
血尿	hematuria	hi:mətju:əriə
結膜	conjunctiva	kóndʒʌŋ ktáivə
結膜炎	conjunctivitis	kóndʒʌŋ ktivaitis
下痢	diarrhea	daiəriə
檢疫	quarantine	kwórənti:n
幻覚	hallucination	həlju:sinéifən
検眼	ophthalmoscopy	ɒfθælmóskəpi
肩関節	shoulder joint	ʃóuldə dʒɔint
健康診断	medical examination	médikəl igzæmin'eifən
健康な	healthy	hélti
肩甲骨	shoulder blade	ʃóuldə bleid
検査	examination	igzæmin'eifən
腱鞘炎	tendovaginitis	téndə vətʒinəit'is
犬歯	canine	kəinain
倦怠疲労	fatigue	fəi:g
幻聴	auditory hallucination	ó:dítəri həlju:sinéifən
健忘症, 記憶喪失	amnesia	æmni:zjə
口蓋	palate	pálit
睾丸	testicle	téstikl
睾丸痛	testicular pain	testíkju:lə pein

(仏語)

<i>voie sanguine f.</i>	<i>vva sãgẽ</i>
<i>selle sanguine f.</i>	<i>sel sãgẽ</i>
<i>tuberculose f.</i>	<i>tyberkylo:z</i>
<i>menstruation f.</i>	<i>mãstryusjõ</i>
<i>éruption menstruelle</i>	<i>erypsjõ mãstry l</i>
<i>cycle menstruel m.</i>	<i>sikl mãstrye</i>
<i>sérum m.</i>	<i>serõm</i>
<i>parenté consanguinité f.</i>	<i>parã kõsãgyinite</i>
<i>cõlon m.</i>	<i>kolõ</i>
<i>sédimentation sanguine</i>	<i>sedimãtasjõ sãgẽ</i>
<i>hématurie f.</i>	<i>ematyri</i>
<i>conjonctive f.</i>	<i>kõsõ kti:v</i>
<i>conjonctivite f.</i>	<i>kõsõ ktivit</i>
<i>diarrhée f.</i>	<i>djar'e</i>
<i>quarantaine f.</i>	<i>karãten</i>
<i>hallucination f.</i>	<i>allysinasjõ</i>
<i>ophtalmoscopie f.</i>	<i>õftalmõskõpi</i>
<i>articulation scapulo-humérale f.</i>	<i>artikylasjõ skapyloymerala</i>
<i>examen médicale</i>	<i>ẽgzãmin mẽdikãl</i>
<i>bonne santé</i>	<i>bõn santẽ</i>
<i>omoplate</i>	<i>õmõplãt</i>
<i>examen m.</i>	<i>ẽgzamẽ</i>
<i>tendovaginite</i>	<i>tãdonvajinit</i>
<i>canin f.</i>	<i>kanẽ</i>
<i>fatigue f.</i>	<i>fatig</i>
<i>hallucination auditive f.</i>	<i>allysinasjõ oditi:v</i>
<i>amnésie f.</i>	<i>ãnezi</i>
<i>palais m.</i>	<i>pãle</i>
<i>testicule m.</i>	<i>tẽstikyle</i>
<i>orchialgia f.</i>	<i>õrkialjl</i>

(日本語)	(英 語)	
口 腔	oral cavity	ó:rəl kævítí
口腔外科	oral surgery	ó:rəl só:dʒəri
高血圧	hypertension	háipə(:)ténʃən
虹 彩		
高山病	mountain sickness	máuntin síknis
甲状腺	thyroid	θáirɔid
光沢のある	lustrous	lástɾas
紅 潮	flushing	fláʃɪŋ
行 動	behavior	bihéivjə
後頭骨	occipital bone	oksípitl boun
口内炎	stomatitis	stòmotáítis
高 熱	high fever	hai hí:və
紅 斑	erythema	eríθí:mə
興 奮	excite	iksait
興奮しやすい	excitable	iksáitəbl
肛 門	anus	éinas
氷 枕	ice-bag	aís bæŋ
股関節	hip-joint	hip jəɔint
呼 吸	breathing	brí:ðɪŋ
呼吸困難	difficulty in breathing	dífikəlti in brí:ðɪŋ
呼吸数	respiratory rate	rispiəɔrətəri reit
凍える	freezing	fri:zɪŋ
鼓 腸	meteorism	mitiəɔrɪzəm
骨 格	frame	frem
黒褐色	blackish brown	blækʃ braʊn
骨 折	fracture	fɾáktʃə
骨 盤	pelvis	pélvis
こぶし	fist	fɪst
鼓 膜	ear-drum, tympanic membrane	jədrəm tɪmpənɪk
こむらがえり, (足がつること)	cramp	kɾæmp
コルセット	jacket, brace corset	dʒəkit, breis, kó:sit
コレラ	cholera	kólərə

(山 語)

cavité buccale f.	kavite bykal
chirurgie buccale	širyryši bykal
hypertension f.	ipertāsĵō
mal des montagnes m.	māl de montāñ
corps thyroïde m.	kə:r tīrōid
brillant, éclatant	briyan, eklātan
enchymose,	ankimos
comportement m.	kōpōrtēmā
os occipital m.	əs əksipital
stomatite f.	stōmatit
fièvre haute f.	fjē:vreot
érythème m.	eritēm
émotion f.	emosjō
excitable	eksitabl
anus m.	anys
vessie à glace	vēsi a glās
articulation de la hanche f.	artikylasjō də la ā:f
respiration f.	respirasjō
essoufflement m.	esufłōmā
fréquence respiratoire f.	frekās respiratwa:r
refroidir	refrwadi:r
météorisme m.	metēorism
charpente osseuse	šarpā:t əsō:z
brun noirâtre	brun nwarat:r
fracture f.	frakty:r
bassin m.	basē
boing	pwin
membrane du tympan f.	mābran dy tēpā
caisse du tympan f.	kes dy tēpā
crampe f.	krā:p
corset m.	kōrsē
choléra m.	kōlera

(日本語)	(英語)	
昏 睡	coma	kóumə
昆 虫	insect	ínsekt
昆虫刺傷	insect bite	ínsekt bait
再発熱	relapsing fever	riLápsij̄ fi:və
再 発	recurrence	rikárəns
催 眠	hypnosis	hipnóusis
錯 乱	confusion	kəʊfju:ʒən
鎖 骨	clavicle	klávikl
坐骨神経痛	sciatica	sai'tik
	ischias	
さしこむような痛み	gripping	gripj̄ij̄
挫傷, 打撲	contusion	kəʊtju:ʒən
挫 創	contused wound	kəʊtju:zd wu:nd
錯 覚	illusion	ilju:ʒən
擦過傷(すりきず)	excoriation	ekskə:riéifən
殺 虫	disinestation	disinfestéifən
さび色の	rusty	rásti
産 科	obstetrics	əbstétriks
産科医	obstetrician	əbstétrifən
残尿感	sense of retention	sens əv ríténfən
痔	hemorrhoid	hémərəid
耳 科	otology	outólədʒi
耳科医	otologist	outólədʒist
歯科医	dentist	déntist
紫外線	ultra-violet rays	Áltrəváiəlit reiz
耳下腺	parotoid gland	pə'rəutəid
耳下腺炎	parotitis	pə'rətáitis
自家中毒	autointoxication	ə:tuíntəksikéifən
色 弱	incomplete color	ínkəmplí:tək'lə
	blindness	bláindnis
色素沈着	pigmentation	pigməntéifən

(仏語)

<i>coma</i> m.	kōma
<i>insecte</i> m.	ēs kt
<i>morsure d'insecte</i> f.	mōrsy:r diŋsekt
<i>fièvre récurrente</i> f.	fjē:vr rekyrā:t
<i>rechute</i> f.	refyt
<i>hypnose</i> f.	ipno:z
<i>confusion</i> f.	kōfyzjō
<i>clavicule</i> f.	klavikyl
<i>sciaticque</i> m.	syātik
<i>saisissement</i> m.	sezismā
<i>contusion</i> f.	kōtyzjō
<i>contusion</i> f.	kōtyzjō
<i>illusion</i> f.	illyzjō
<i>écorchure</i> f.	ekōrfy:r
<i>désinfestation</i> f.	dezinfestasyon
<i>rouillé</i>	ruje
<i>obstétrique</i> f.	ōpstetrik
<i>obstetricien</i> m.	ōpstetrisan
<i>sensation de retention</i> <i>urinaire</i>	sansasyon de retansyon yrine:r
<i>hémorroïdes</i> f.	emōr'oid
<i>otologie</i> f.	ōtōlogi
<i>otologiste</i> m.	ōtōlogist
<i>dentiste</i> m.	dātist
<i>rayons ultraviolets</i>	rēyon yltravjōle
<i>glande parotide</i> f.	glā:d parōtid
<i>parotidite</i> f.	parōtidit
<i>autointoxication</i> f.	ō(o)tōēfēksjō
<i>dyschromatopsie</i> f.	diskromatopsi
<i>pigmentation</i> f.	pigmātasjō

(日本語)	(英語)	
色盲	color-blindness	kála bláindnis
子宮	womb	wu:m
	uterus	jú:tərəs
刺激性の	irritable	írit bl
刺激物	stimulant	stímjulənt
事故	accident	æksidənt
耳垢	ear-wax	fəwəks
四肢	extremities	ikstrémítiz
刺傷	stab wound	stæb wu:nd
視線	visual line	vízjuəl laín
歯槽膿腫	aðvəpər abscess	ædvjəð əbsis
舌	tongue	læŋ
耳痛	otalgia, ear-ache	outáldʒiə, iəeik
疾患	disease	dizí:z
失禁	incontinence	inkɔ́ntinəns
失神	fainting	féintiŋ
湿疹	eczema	éksimə
湿布	compress	kəmprés
しなびた	withered	wiðəd
歯肉	gum	gʌm
耳鼻咽喉科	otorhinopharyngo- laryngology	óutəuráinoufəríŋgou- ləriŋgólədʒi
ジフテリア	diphtheria	difθɪəriə
しぶり	tenesmus	tənézməs
脂肪	fat, fatty	fæt, féti
しみ	spot, stain	spɒt, steín
視野	visual field	vízjuəl
斜視	squint	skwint
しゃっくり	hiccup, hiccough	híkʌp, híkʌp
嗅覚器	olfactory organ	ɒlféktəri ó:gən
嗅覚障害	olfactory disturbance	ɒlféktəri distá:bəns
充血	hyperemia	háipəri:mia
充血した	hyperemic	háipərimik
銃創	gun-shot wound	gʌnʃɒt wu:nd

(仏語)

<i>daltonisme</i> f.	<i>daltonism</i>
<i>utérus</i> m.	<i>yterys</i>
<i>matrice</i> f.	<i>matris</i>
<i>irritative</i>	<i>ir'itativ</i>
<i>stimulant</i> m.	<i>stimylā</i>
<i>accident</i> m.	<i>aksidā</i>
<i>cérumen</i> m.	<i>serymen</i>
<i>membre</i> m.	<i>mā:br</i>
<i>coup d'estoc</i>	<i>ku destok</i>
<i>axe visuel</i> m.	<i>aks vizyel</i>
<i>pyorrhée alvéole-dentaire</i>	<i>pjor'e alveol dāte:r</i>
<i>langue</i>	<i>lā:g</i>
<i>otodynie</i> f.	<i>otodini</i>
<i>affection</i> f.	<i>afeksjō</i>
<i>incontinence</i> f.	<i>ēkōtinā:s</i>
<i>défaillance</i> f.	<i>defajū:s</i>
<i>eczéma</i> m.	<i>ekzema</i>
<i>compresse</i> f.	<i>kōpres</i>
<i>desseché, atrophié</i>	<i>dēsēshé, atrōfié</i>
<i>gencive</i> f.	<i>gāsi:v</i>
<i>otorhinolaryngologie</i> f.	<i>otorinolārēgoloji</i>
<i>diphthérie</i> f.	<i>difteri</i>
<i>ténésme</i> m.	<i>tenesm</i>
<i>corps gras</i> m.	<i>kā:r gra</i>
<i>tache</i> f.	<i>taf</i>
<i>champ visuel</i> m.	<i>fā vizyel</i>
<i>strabisme</i> m.	<i>strabism</i>
<i>hoquet spasmodique</i> m.	<i>ōke spasmodik</i>
<i>organe olfactive</i>	<i>orgān olfactiv</i>
<i>dysosmie</i> f.	<i>dizosmi</i>
<i>hyperémie</i> f.	<i>iperemi</i>
<i>hyperémique</i>	<i>iperemik</i>
<i>blessure par balle</i> f.	<i>hfe(e)sy:r par bai</i>

(日本語)	(英語)	
十二指腸	duodenum	dju(:)oudf:nəm
十二指腸潰瘍	duodenal ulcer	dju(:)oudf:nl AIsə
手関節	wrist joint	rist dʒəint
手術	operation	ɒpəreɪʃən
手術室	operating-room	ɒpəreɪtɪŋ rum
腫脹	swelling	swéliŋ
出血	bleeding	bli:diŋ
腫瘰, 予防接種	hemorrhage	hémoɪd
腫瘍	vaccination	væksineɪʃən
上顎	tumor	tju:mə
上顎骨	maxillary	mæksɪləri
消化	maxilla	mæksɪlə
消化不良	digestion	diɔdʒestʃən
衝擊	dyspepsia	dispépsio
猩紅熱	impulse	impəls
上肢	scarlet fever	ská:lɪt fi:və
症狀	upper limb	ʌpə lim
狀態	symptom	sɪmptəm
情緒	condition	kəndɪʃən
小腸	emotion	imóuʃən
消毒	small intestine	smə:l intéstɪn
靜脈	disinfection	disinfékʃən
職業歴	vein	veɪn
褥瘡, 床ずれ	occupational history	ɒkjupetʃənəl hístəri
食後	decubitus,	dekubitus
食餌療法, 食餌	bed-sore	bedsə:
食前	after meal	á:ftə mi:l
食道	diet	dáɪet
食物	before meal	bɪfɔ: mi:l
流動食	esophagus	i:sɒfəgəs
固形食	food	fu:d
食欲	liquid food	líkwɪd fu:d
	solid food	sólɪd fu:d
	appetite	əpɪtaɪt

(仏語)

doudénum m.	dyoden m
ulcère duodéna1 m.	ylsere dyodenal'
articulations de la main	artikylasjō de la mē
opération f.	operasjō
salle d'opération f.	sal d'operasjō
gonflement	gonfleman
hémorragie f.	emōr'az̄i
vaccination f.	vaksinasjō
tumeur	tymœ:r
maxillaire m.	maksille:r
os maxillaire supérieur m.	os maksille:r syp̄erjœ:r
digestion f.	diʒestjō
dyspepsie f.	dispepsi
impulsion f.	èpylsjō
scarlatine f.	skarlatin
membre supérieur	manbr syp̄erjœ:r
symptôme m.	sèptœ:m
état m.	eta
sentiment m.	sātima
intestin grêle	ètestè gr l
désinfection f.	dezèfeksjè
veine f.	ven
maladie professionnelle f.	maladi profesjonel
escarre	èskâr
après le repas	aprè le rapa
diététique f.	djetetik
avant le repas	avā le rapa
œsophage m.	ezofa:ʒ
nourriture f.	nur'ity:r
régime liquide	rèjim likid
régime solide	rejim sòlid
appétit m.	apeti

(日本語)	(英語)	
食欲不振	anorexia, loss of appetite	iónouréksia lɔs əvɛpítáit
初月経	first menstruation	fɔ:st mɛnstruɛíʃən
初診	first medical examination	fɔ:st médíkal ígzámíneíʃən
女性	female	fí:meil
女性外陰部	vulva	válvə
ショック	shock	ʃɔk
支離滅裂, 思考錯乱	incoherence	ínkəuhʃərəns
視力	visual acuity	vízju l kjú(:)ítí
視力検査	examination of visual acuity	ígzámíneíʃən əv vízjuəl əkju(:)ítí
脂漏	seborrhea	səbərí:ə
耳漏	otorrhea	òutərí(:)ə
白っぽい	whitish	hwáítif
しわだらけの	wrinkled	ríŋklɪd
腎炎	nephritis	nefráítis
人格	personality	pə:sənəlíti
腎機能検査	renal function test	rí:nl ɛŋ kʃən test
神経質	nervous	nó:vəs
神経症	neurosis	njuərəóusis
深紅色	scarlet	ská:lít
診察室	consultation room examination room	kənsəltéíʃən rʊm ígzámíneíʃən rʊm
心室	ventricular, ventricle	ventríkju:lə, véntríklə
親せき	relative	rélətív
心臓	heart	há:t
心臓発作	heart attack	há:t ətá:k
心臓病	heart disease	há:t dízíz
腎臓	kidney	kídni
身体検査	physical examination	fízíkal ígzámíneíʃən
診断	diagnosis	dáíəgnóusis
診断書	medical certificate	médíkal sə(:)tífíkít
身長	height	háit

(仏語)

anorexie f.	anor ksi
ménarche	menarshi
premier examen médicale	premyé egzâin medical
femelle f.	f]a]m l
vulve f.	vylv
choc m.	ʃok
incohérence f.	ĕkœrã:s
acuité visuelle	akyite vizyel
examen de'la vue m.	egzamē dœ la vy
séborrhée f.	sehœr'e
otorrhée f.	otœr'e
blanchâtre	blãfa:tr
ridé	rid
nephrite f.	nefrit
personnalité f.	p rsonalite
épreuve du fonctionnement	epœv dy fœksjœnmã
renal f.	renal
nervosité f.	nervozite
névrose f.	nevroze
écarlate	ekarlat
cabinet de consultation	dãbinē dœ konsültãsyon
ventricule	vãtrikyɫ
relatif	relãtif
cœur m.	kœ:r
crise cardiaque	kri:z kardiak
cardiopathie f.	kãrdiœpati
rein m.	rē
examen physique	egzãmin fizik
diagnostie m.	djanostik
certificat médical	sẽrtifikã medikal
hauteur f.	otœ:r

(日本語)

心電図

じんま疹

診療所

衰弱

膵臓

膵臓炎

水痘

睡眠

スキนมイルク

頭痛

ストレス

精液

生活様式

性交

整形外科

整形外科医

正常な

性質, 正常

精神異常

精神異常の

精神科

精神状態

成人

ぜいぜい言う

青銅色

声帯

性病

性欲

(英語)

E.C.G. (electrocardiography) (iléktrouká:diógráfi)

wheal, urticaria

hwi:l

clinic

klínik

debility

díbiliti

pancreas

páŋkriós

pancreatitis

páŋkriótáitís

chickenpox

tʃíkinpòks

sleep

sli:p

skimmed milk

skimd milk

headache

hédeik

stress

stres

semen

sí:men

mode of life

móud ov laif

sexual intercourse

séksjuəl int (:)k :s

orthopedics

ò:θoupi:díks

orthopedist

ò:θoupi:díst

normal

nó:məl

character

káriktə

insanity

inænití

insane

insein

psychiatry

saikáiãtri

mental state

méntl steit

adult

áððlft

wheeze

hwi:z

bronzy

brónzi

vocal cord

vóukəl kò:d

venereal disease

vinfəriəl

sexual desire

séksjuəl dízi:z

(仏 語)

électrocardiogramme m. el ktrökardjogram
urticair f. yrtikæ:r
clinique f. klinik

débilité f. debilite
pancréas m. pākrea:s
pancréatite f. pākreatit
vésicule f. vezikyl
sommeil m. sømej
lait maigre m. le megr
céphalagie f. sefalalgi
stress m. stres

liquide séminal m. likid seminal

accouplement m. akuplomā
orthopédie f. ortopedi
orthopédiste m. ortopedist
normal nōrmaal
caractère m. karakter:r
insanité f. ēsanite
insane ēsan
psychiatrie f. psikjatri
état mental étā mantāl
adulte m. adylt
hâletante âhent
verdâtre verdâtr
corde vocale f. kōrd vokal
maladie vénérienne f. maladi venerjē
désirs sexuels m. pl. dēzin seksyel

(日本語)	(英語)	
性力減退	sexual weakness	séksjuəl wí:knis
咳	cough	kəʊf
赤外線	infra-red rays	ínfrəréd reiz
赤面恐怖症	erythrophobia	iriθroufóubjə
赤痢	dysentery	dí:səntri
舌 縁	edge of the tongue	edʒ əv ðə tʌŋ
赤血球	red-cell, erythrocyte	red sel, iriθrusait
前 額	forehead	fórid
鮮紅色	bright-red	brait red
洗 滌	irrigation	irigéif n
喘 息	asthma	ásmə
疝痛 (せんつう)	colic	kólík
先天的な	congenital	kəndʒénitl
前頭骨	frontal bone	frántl boun
前頭部の	frontal	frántl
前部の	anterior	æntiəriə
せん妄, うわ言	delirium	diliriəm
せん妄状態の	delirious	diliri s
前 腕	forearm	fó:ra:m
創 傷	wound	wu:nd
蒼 白	pale	peil
そう病	mania	méinjə
そう状態	manic state	méiniək steit
そううつ病	manic-depression psychosis	méiniək diprésjən saikóusis
癢 痒	itching	ítʃiŋ
側臥 (横向き)	lateral	léitərəl
足関節炎	podarthriti	poda:θraítis
側腹部痛	flank pain	flæŋk pein
そ 径 部	groin	grəin
卒 中	apoplexy	ápəpleksi
卒倒, 失神	swoon	swu:n
そばかす	freckles	fréklz
そら豆大	bean-size	bi:n saiz

(仏語)

débités sexuels	débité seksyei
<i>toux f.</i>	tu
rayons infra-rouges	reyon infra-ru:ʒ
érythrophobie f.	eritrofobi
dysenterie f.	disātri
au bout de la langue	o bû de la lang
globule rouge m.	glöbyl ru:ʒ
<i>front m.</i>	frō
rouge vif	ru:ʒ vif
irrigation f.	ir'igasjō
asthme m.	asm
colique f.	kōlik
congénital	kōʒ enital
os frontal m.	os frōtal
<i>frontal</i>	frōtal
antérieur	āterjœ:r
délire m.	deli:r
délirant	delirā
avant-bras m.	avā bra
traumatisme m.	tromatism
pâleur m.	palœ:r
manie f.	mani
stade maniaque	stal maniak
psychose maniaque	psiko:z manjak
-dépressive f.	depresi:v
démangeaison f.	demāʒe:zō
se coucher sur le côté	s kuʒe syr l kôté
podagre	podagr
douleur au flanc	dūker o flau
région inguinale f.	reʒjō ēgyinalo
apoplexie de la luette f.	apopleksi də la lyet
défaillance f.	defajā:s
éphélide f.	efelid
grasseur de pois	grœœr de pwā

(日本語)	(英語)	
損傷	impairment, injury	impéomənt, ínɔʒəri
退院	discharge	distʃá:dʒ
体温	body temperature	bɔði témpəritʃə
体温計	thermometer	θəm'mitə
体温上昇	rise of temperature	raiz əv témpəritʃə
体格	physique	fizi:k
体幹	trunk	trʌŋk
大臼歯	molar tooth	móulo tu:θ
体質	constitution	k'ɔnstitju:fən
体重	weight	weit
体重過剰	over-weight	óuvə weit
対人恐怖症	anthropophobia	ánθərəpoufóubia
大腿	thigh	θai
大腿骨	thigh bone	θai bəʊn
大腸炎	colitis	kə'láitɪs
大流行	pandemy	pændemɪ
唾液	saliva	sə'láivə
脱臼	dislocation of joint	disləkේjən əv dʒɔint
脱毛	falling-out of hair	fɔ:lɪŋ aʊt əv hɛə
多尿	polyuria	pɔlɪjúəriə
担架	stretcher	strétʃə
男性	male	meɪl
胆石	gall stone	gɔ:l stəʊn
胆のう	gall-bladder	gɔ:l bláɔdə
知覚, 感覚	sensation, sensibility	senséifən, sénsibɪlɪti
腔	vagina	vədʒáinə

(仏語)

blessure f.	bl (e)sy:r
exéat	ekseat
température corporelle	tanpératyr kôrporél
thermomètre m.	termomètr
relèvement de la température	relêvma de la tâperaty:r
physique m.	fizik
tronc m.	trô
molaire	môlêr
constitution f.	kôstitutsjô
poids m.	pwa
surpoids m.	syrpwa
anthropophobie f.	ânropafobî
cuisse f.	kyis
fémur m.	femy:r
colite f.	kolit
pandémie f.	pâdemi
salive f.	sali:v
salive f.	sali:v
alopécie f.	alôpesî
polyurie f.	poljyri
civière f.	sivjê:r
mâle m.	ma:l
calcul biliaire m.	kalkyl biljê:r
vésicule biliaire f.	vezikyl biljê:r
sensation f.	sâsasjô
vagin m.	vagê

(日本語)	(英語)	
治癒	healing, cure	hi:lɪŋ, k ʊə
中耳炎	otitis media	oʊtaɪtɪs mi:diə
注射	injection	ɪndʒɛkʃən
虫垂	appendix	əpɛndɪks
虫垂炎	appendicitis	əpɛndɪsaɪtɪs
中毒	poisoning	pɔɪznɪŋ
腸	intestine	ɪntɛstɪn
大腸	large intestine	la:dʒ ɪntɛstɪn
小腸	small intestine	sma:l ɪntɛstɪn
聴診器	stethoscope	stɛθəskəʊp
腸チフス	typhoid fever	taɪfɔɪd fi:və
聴力	hearing	hi:ərɪŋ
聴力検査	hearing test	hi:ərɪŋ tɛst
直腸	rectum	rɛktəm
治療	treatment	tri:tment
鎮痛	analgesia	ˌænəldʒi:zjə
椎骨	vertebra	vɔ:ˈtɪbrə
追突	head-on collision	hed ɔn kɔlɪʒən
痛風	gout	ɡaʊt
土色	fallow	fɛləʊ
ツベルクリン反応	tuberculin reaction	tʃu(:)bɜ:kjulin ri(:)ʌkʃən
つま先	toe	toʊ
爪	nail	neɪl
低血圧	hypotension	hiˈpɒtɛnʃən
程度	degree	diɡri:
てんかん	epilepsy	ɛpɪlɛpsi
伝染病	infectious disease	ɪnfɛkʃəs di:zi:z
天然痘	small pox	sma:l pɒks

(L 15)

guérison	gérizon
otite moyenne f.	otit mwajen
injection f.	ĩĩĩksjō
appendice m.	apēdis
appendicite f.	apēdisit
empoisonnement m.	āpwazonmā
intestin m.	ētestē
gros intestin n.	gro ētestē
intestin grêle	ētestē grel
stéthoscope m.	stetōskop
fièvre typhoïde f.	fje:vr tifoid
acuité auditive f.	akyite oditi:v
acoumétrie f.	akumeiri
rectum m.	rektom
traitement m.	treimā
analgésie f.	analgezi

vertèbre f.	vertēbr
collison frontale	kōllizjō frontal
goutte f.	gut
pâle	pa:l
épreuve de la tuberculose f.	epre:v dō la tyberkylo:z
orteil m.	ortej
ongle m.	ō:gi

hypotension f.	ipotāsjō
degré m.	dogre
épilepsie f.	epilepsi
maladie infectieuse f.	maladi
variole f.	varjōl

(日本語)	(英語)	
頭蓋	skull	skʌl
動悸	palpitation	ˈpælpɪtේfən
瞳孔	pupil	pju:pil
凍傷, しもやけ	chilblain, frost bite	tʃɪlbleɪn frɔ:(s)tbaɪt
糖尿病	diabetes	daiəbēti:z
頭皮	scalp	skɔ:lp
動脈	artery	á:təri
投薬	medication	medikේfən
特異体質	idiosyncrasy	ídiosɪŋkrəsi
とげ	spine	spain
どもり	stammering	stámərɪŋ
鈍痛	dull pain	dʌl peɪn
内科	internal medicine	intó:nl mēdsɪn
内耳	internal ear	intó:nl iə
内出血	internal bleeding	intó:nl blí:dɪŋ
内臓	entrails	éntreɪlz
涙	tear	tíə
軟化	softening	sá(:)fnɪŋ
難聴	impairment	impéəmənt
日射病	sun-stroke	sʌn stru:k
入院	admission	ədmiʃən
乳歯	deciduous tooth	disídjuəs tu:θ,
	temporary tooth	témpərərɪ tu:θ
乳腺	mammary gland	mámərɪ glænd
乳白色	milk-white	milk hwaɪt
尿	urine	júərɪn
尿管	ureter	juəri:ta
尿検査	urinary examination	júərɪnərɪ ɪgəbminේfən

(仏語)

<i>crâne</i> m.	<i>kra:n</i>
<i>palpitation</i> f.	<i>palpitasjō</i>
<i>pupille</i> f.	<i>pypil</i>
<i>gelure</i> f.	<i>ʒ[ə]ly:r</i>
<i>diabète sucré</i> m.	<i>djabɛt sykre</i>
<i>cuir chevelu</i> m.	<i>kyi:r f vly</i>
<i>artère</i> f.	<i>artɛ:r</i>
<i>administration</i> f.	<i>administrasjō</i>
<i>idiosyncrasie</i> f.	<i>idjosɛkrazi</i>
<i>épine</i> f.	<i>ɛpin</i>
<i>bégaiement</i> m.	<i>beg mā</i>
<i>douleur sourde</i> f.	<i>dulɔ:r</i>
<i>médecine interne</i> f.	<i>mɛ(e)dsɛ̃ ɛ̃tɛrn</i>
<i>oreille interne</i> f.	<i>ɔ rej ɛ̃tɛrn</i>
<i>saignement interne</i> m.	<i>sɛ mā ɛ̃tɛrn</i>
<i>viscère</i> m.	<i>visɛ:r</i>
<i>larme</i> f.	<i>larm</i>
<i>amollissement</i> m.	<i>amolismā</i>
<i>surdité</i> f.	<i>syrdité</i>
<i>insolation</i> f.	<i>ɛ̃sɔlasjō</i>
<i>admission</i> f.	<i>admisjō</i>
<i>première dentition</i> f.	<i>prɛmjɛ dā̃tisjō</i>
<i>glande mammaire</i> f.	<i>glā:d mammɛ:r</i>
<i>blanc laiteux</i>	<i>blan létɛ</i>
<i>urine</i> f.	<i>yri:n</i>
<i>uretère</i> m.	<i>yrtɛ:r</i>
<i>uroscopie</i> f.	<i>yroskopi</i>

(日本語)	(英語)	
寝汗	night sweating	nait svétig
熱	fever	fí:vø
熱射病	heat-stroke	hi:t strouk
	thermo-plegia	øð:mouplí:dʒio
熱帯性	tropical	tr'pikl
捻挫	sprain	sprein
粘土様	clay-colored	klei kálød
粘膜	mucous membrane	mjú:kəs mémbrein
脳	brain	brain
脳炎	encephalitis	enkefəlitis
脳出血	cerebral hemorrhage	séribrəl hémøridʒ
脳の	cerebral	séribrəl
脳波	E.E.G. (electroencephalogram)	(iléktrouenséfølogram)
濃紅色	deep-red	di:p red
濃青色	deep-blue	di:p blu:
のど	throat	θrouθ
のみ	swallow	flí:
のみこむ	swallow	swólou
歯	tooth	tu:θ
歯の	dental	déntl
歯痛	toothache	tu:θeik
肺	lung	lʌg
肺炎	pneumonia	nju(:)móunjo
肺結核	lung tuberculosis	lʌg tju(:)bà:kjulóusis
背臥	supine	sju:páin
肺活量	capacity of lung, vital capacity	kəpásiti əv lʌg, vítløkəpásiti

(仏語)

sueur nocturne f.	syœ:r nœktyrn
fièvre f.	fjɛ:vr
coup de chaleur m.	ku dœ falœ:r
tropical	trœpikal
distorsion f.	distœrsjœ
couleur d'argile	kuœr dœrʒil
membrane muqueuse f.	mœbrœn mykœ:z
cerveau m.	sœrvo
encéphalite f.	œsɛfalit
hémorragie cérébrale f.	emœr'œzi serebral
cérébral	serebral
électroencéphalogramme	elœktrœœsɛfalœgram
rouge foncé	ru:ʒ fœnsé
bleu foncé	blœ fœnsé
gorge f.	gœrʒ
puce f.	pys
avaler	a+ val
dent f.	dœ
dentaire	dœtœ:r
dentalgie f.	dœtalʒi
poumon m.	pumœ
pneumonie f.	pnœmœni
tuberculose pulmonaire f.	tybœrkylo:z pylmœnœ:r
décubitus dorsal	dœkœbit dœrsœl
capacité vitale f.	kapasitœ vital

(日本語)	(英語)	
肺活量計	spirometer	spaiorómítə
肺機能検査	pulmonary function test	pálmənəriəfáŋkʃən test
排泄	excretion	ikskrí:fən
梅毒	syphilis	sífilis
排尿	urination	jùərinéifən
排尿困難	dysuria	disjúəriə
排便	defecation	défikéifən
排卵周期	ovulation cycles	òuvjuleifən saikl
灰白色	greyish-white	gréiif hwait
吐き気	nausea	nó:sjo
歯ぎしり	grinding (gnashing) of teeth	gráindŋ (ŋəʃŋ) əv ti:θ
白癬	ringworm	ríŋwə:m
白内障	cataract	kætəməkt
爆発による創傷	explosion wound	iksplóuzən wu:nd
はげ	baldness	bó:ldnis
破傷風	tetanus	tétənəs
発汗	sweating	swétiŋ
白血球	white-cell, leukocyte	hwait sel, lju:kousait
白血病	leukemia	ljuki:mia
鼻	nose	nouz
鼻声	nasal speech	néizəl spi:tʃ
鼻茸	nasal polyp	néizəl pólip
鼻血	nasal hemorrhage	néizəl héməridʒ
鼻づまり	nasal obstruction	neizəl əbstráŋkʃən
バラ色の	rosy	róuzi
ハラチフス	paratyphoid fever	pərotáifəid fi:və
破裂, ヘルニア	rupture	ráptʃə
斑	maculae	mækjuli:
瘢痕	scar	ska:
ばんそうこう	adhesive, tape	adhí:siv, teip

(仏語)

spiromètre m.	spirometr
épreuve de fonction pulmonaire f.	eprœ:v do fōksjō pylmone:r
vidange f.	vidā:ɟ
syphilis f.	sifilis
miction f.	miksijō
dysurie f.	dizyri
défécation f.	defekasjō
cycle d'ovulation	sikl dovułasjon
blanc grisâtre	blan griza:tr
nausée f.	noze
grincement des dents m.	grinsman de dant
trichophytie f.	trikofiti
cataracte f.	katarakt
blessure d'explosion	blēsūr dékspzjon
calvitie f.	kālvisi
tétanos m.	tetano:s
sudation f.	sydasjō
leucocyte m.	lōkosit
leucémie f.	lōsemi
nez m.	ne
voix nasal f.	vwa nazal
polype nasal m.	polip nazal
épistaxis f.	epistaksis
obstruction nasale f.	opstryksjō nazal
rosé	ro:z
fièvre paratyphoïde f.	fjē:vr paratifoid
rupture f.	rypty:r
macule f.	makył
cicatrice f.	sikatriis
adhésif m.	adezil

(日本語)	(英語)	
飛行機酔い	air-sickness	eo sɪknɪs
ひざ	knee	ni:
ひざ関節	knee-joint	ni: dʒɔɪnt
肘	elbow	ɛlbou
鼻 腔	nasal cavity	néizəl káiviti
鼻 骨	nasal bone	néizəl bouŋ
鼻 漏	nasal discharge	néizəl distʃá:dʒ
鼻 炎	rhinitis	raɪnátis
鼻 科	rhinology	ráin-ól dʒi
脾 臓	spleen	spli:n
肥大	hypertrophy	haip-ɔ:trɔfi
ひっかき傷	scratch	skrætʃ
びっこ	lame, cripple	leɪm, kripəl
人嫌い	misanthropic	mizən-ɔ:rɔpik
泌尿器	urinary organ	jú-ri:nəri ó:gən
泌尿器医	urologist	ju-ɔ:lə dʒist
ひねくれた	perversness	pə(:)vɔ:snɪs
微 熱	slight fever	slait fi:və
皮 膚	skin	skin
皮膚炎	dermatitis	də:mətáitɪs
皮膚科	dermatology	də:mət-ólə dʒi
皮膚科医	dermatologist	də:mət-ólə dʒɪst
肥 満	obesity	oubi:siti
冷 汗	cold sweating	kould swétiŋ
百日咳	whooping cough	hú:piŋ kɔf
日 焼	sun burn	sʌn bɔ:nŋ
ヒューヒュー言う	whistling	hwɪsli
病 院	hospital	hɔspɪtl
病 因	etiology	i:ti-ólə dʒi
表 情	expression	ikspréʃən
癩瘡 (ひょうそう)	whitlow	hwítlou
	felon	félən
病 歴	case history,	keɪs historɪ
	clinical history	klínikəl

(仏 語)

genou m.	ʒ[ə]nu
articulation du genou	artikylasjõ dy ʒənu
coude m.	kud
fosse nasale f.	fose nazal
os nasal m.	os nazal
rhinorrhée f.	rinɔr'e
rhinite f.	ritit
rhinologie f.	rinɔləʒi
rate f.	rat
hypertrophie f.	ipɛrtʁɔfje
égratignure f.	egrati y:r
estropié m.	ɛstʁɔpje
misanthropie f.	mizãtrɔpi
organe urinaire m.	ɔrgan yrine:r
urologiste m.	yʁɔləʒist
perversté f.	pɛrvɛsité
fièvre légère	fyɛvr léʒe
derme m.	derm
dermatite f.	dɛrmatit
dermatologie f.	dɛrmatɔləʒi
dermatologiste m.	dɛrmatɔləʒist
obésité f.	ɔbezite
sueur froide f.	syɛ:r fʁwa:d
coqueluche f.	kɔklyʃ
coup de soleil m.	ku də sɔləʒ
sifflement	siflɛman
hôpital m.	ɔ(ɔ)pital
étiologie f.	ɛtjɔləʒi
expression f.	ɛksprɛsjõ
panaris m.	panari
anamnèse	anamnez

(日本語)	(英語)	
鼻汁	rhinorrhœa	râinourí(:)ə
敏感	tenderness	téndənɪs
貧血	anemia	əní:mɪə
不安	anxiety, unrest	æŋzaiəti, ánrést
フィラリア症	filariasis	filəriəsis
風疹	rubella, German measles	ru:bélə, dʒə:mən mɪ:zlz
不快感	discomfort	diskʌmfət
腹臥 (はらばい)	prone	prəʊn
腹痛	abdominal pain	æbdəminl peɪn
腹部	abdomen	əbdəmen
腹膜炎	peritonitis	pəritənáti:s
副鼻腔	sinus	sáinos
腹鳴	gurgling, grumbling	gə:gliŋ, grʌmblɪŋ
婦人科	gynecology	gáini(:)kólədʒi
婦人科	gynecologist	gáini(:)kólədʒɪst
普通, 中位	moderate	mədərɪt
不透明な	opaque	əupéik
肥った	obese	əubi:s
船酔い	sea-sickness	si: sɪknis
不妊法, 殺菌	sterilization	stəri-laizéifən
不眠	sleeplessness	slí:plɪsnɪs
ふらつき	light-headedness	laɪt hédidnɪs
ふるえ	trembling	trémblɪŋ
分解, 消耗	decomposition	dɪ:kəmpəzɪfən
分泌	secretion	sikrɪ:fən
噴霧	spray	spreɪ
ぶよ	gnat	næt
糞	feces, stool	fí:si:z, stu:l

(仏語)

rhinorrhée f.	rinor'e
sensibilité	sansibilité
anémie f.	anemi
angoisse f.	āgwas
filariose f.	filarjo:z
rubéole f.	rybeal
inconfort m.	ékōfo:r
décubitus ventral	dekybit vantral
douleur abdominale f.	dulœ:r abdominal
abdomen m.	abdōmen
péritonite f.	peritonit
sinus nasal m.	sinys nazal
borborygme m.	borb rigm
gynécologie f.	zinek l i
gynécologue m.	zinek l g
modéré	m dere
opaque	opak
obèse	ob :z
mal de mer m.	mal dō me:r
stérilisation f.	sterilizasjō
insomnie f.	ēsōnni
étourdissement	éturdisman
tremblement m.	trāblōmā
décomposition f.	dekōpozisjō
sécrétion f.	sekresjō
spray m.	spre
moucheron m.	mufrō
excrément m.,	ekskremā
selles	səl

(日本語)	(英 語)	
平坦な	flat	flæt
ペスト	plague, pest	pleig, pest
へそ	navel	néivəl
ヘルニア	hernia	hō:nja
ヘルペス、抱疹	herpes	hō:pi:z
便	stool	stu:l
血便	bloody stool	bládi stu:l
水様の便	watery stool	wó:təri stu:l
泥状の便	muddy stool	mádi stu:l
不消化の便	undigested stool	ʌndidʒéstid stu:l
便器	bed-pan	bed pæn
変色	discoloration	diskalərəifən
扁桃	tonsil	tónsil
扁桃炎	tonsillitis	tónsiláitis
片頭痛	migraine	mígrein
便秘	constipation	k`nstipeifən
扁平足	flat foot	flæt fut
頬	cheek	tʃi:k
暴飲暴食	erapulous	kæpju:l s
包茎	phimosis	faimóusis
膀胱	bladder	bléidə
膀胱炎	cystitis	sistáitis
包帯	bandage	bændidʒ
放屁	flatus	fléitəs
膨満	fullness	fúlnis
膨満感	sense of fullness	sens əv fúlnis
保菌者	carrier	kéiria
歩行	gait	geit
歩行障害	disturbance of gait	distó:bəns əv geit
補聴器	hearing aid	híəriŋ eid

(仏語)

plat	pla
peste f.	pest
ombilic m.	ōbīlik
hernie f.	erni
herpès m.	erpēs
excrément, selles	ekskremā, sel
selle sanguine f.	səl sāgēin
selle aqueuse f.	səl akφ:z
selle bourse f.	səl bwφ:z
selle indigérée f.	səl indizere
bassin de lit m.	basin de li
decoloration f.	dekolorasjō
amygdale f.	amigdal
amygdalite f.	amigdalit
migraine f.	migrēn
constipation f.	kōstīpasjō
pied plat m.	pjepla
joue f.	ʒu
crapuleux	krāpylē
phimosiis m.	fimozis
vessie f.	vesi
cystite f.	sistit
bandage m.	bāda:ʒ
flatulence f.	flatylā:s
plénitude f.	plenityd
sensation de plénitude	sansasyon de plenitūd
porteur	portør
marcher m.	marʃe
trouble de la démarche m.	troubler de la demarʃ
otophone	otofon

(日本語)	(英語)	
発作	attack, seizure	atæk, sí:ə
発疹	exanthema, rash	eksæntə'f:mə, ræʃ
発疹チフス	typhus	táifəs
発赤	redness	rédi:nis
骨	bone	boun
ホームシック	homesickness	houmsikniss
ポリープ	polyp	pólip
ホルモン	hormone	hó:moun
摩擦	friction	fri:kʃən
麻疹(はしか)	measles	mí:zlz
麻酔	anesthesia	ænisθi:zjə
末期	terminal stage	tó:minl steidʒ
まつげ	eyelash	áitʃ
松葉杖	crutch	krʌtʃ
麻痺	palsy, paralysis	pó:lzi, pənə'lisis
眉毛	eye brow	áibrau
マラリア	malaria	mələ'riə
慢性の	chronic	krónik
緑色っぽい	greenish	grí:nɪʃ
耳	ear	iə
耳鳴り	ringing in the ear, tinnitus	ríŋɪŋ in ðə iə, tínáitəs
脈拍数	pulse rate	pʌls
無塩食	salt-free diet	sə:lt fri: dáiet
無関心	indifference	indífərəns

(仏語)

attaque f.	atak
exanthème m.	egzātem
typhus exanthématique m.	tifys egzātematik
rubéfaction f.	rybefaksjō
os m.	os
nostalgie	nòstāljī
polype m.	pōlip
hormone f.	ormōn

friction f.	friksjō
rougeole f.	ružōl
anesthésie f.	anestezi
stade terminal	stad tērminal
cil m.	sil
béquille f.	bekij
paralysie f.	paralizi
sourcil m.	sursi
malaria f.	malarja
chronique	kronik

verdâtre	verdātr
oreille f.	orej
tintement d'oreilles m.	tinteman doreiju

fréquence du pouls f.	frekās dy pu
-----------------------	--------------

diète sans sel	djet sā sel
indifférence f.	ēdifrās

(日本語)	(英語)	
むくみ	edema	i(:)di:mə
虫歯	caries, tooth caries, decayed tooth	kéərii:z, tu:θ dikéid tu:θ
無色の	dental caries	déntl kéərii:z
胸, 胸部	colorless	kAləlis
胸, 乳房	chest	tʃest
胸やけ	breast	brest
無力	heart burn	ha:t bə:n
無力の, 衰弱の	weakness	wi:knis
	asthenic	æsθénik
眼	eye	ai
眼の洗浄	eye irrigation	ai irigéifəŋ
めまい	dizziness, vertigo, giddiness	dízinis, vó:tigou, gidinis
免疫	immunology, immunity	imju:nól dʒi, imjú:niti
妄想, 錯覚	delusion	diljú:ʒən
網膜	retina	rétin
薬疹	drug eruption	drag irápsəŋ
夜盲	night blindness	nait bláindnis
輸血	blood transfusion	blAd trənsfjú:ʒən
指	phalanx, finger	β(ə)læŋks, fíŋgə
人さし指	fore finger	fə:fiŋgə
小指	little finger	litlfiŋgə
中指	middle finger	mídlfiŋgə
くすり指	ring finger	ríŋ+fiŋgə
拇指	thumb	θAm

(仏語)

œdème m.	edem
carie dentaire f.	kari dâte:r
incoloré	êkolô:r
poitrine f.	pwatrin
sein m.	sê
pyrosis m.	pirozis
faiblesse f.	fêbles
asthénique	astenik
œil m.	œj
irrigation des yeux	irrigasyon de yê
vertige m.	verti:ʒ
immunité f.	immynite
illusion f.	illyzjô
rétine f.	retin
éruption médicamenteuse f.	erypsjô medikamâto:z
héméralopie f.	emeralopi
transfusion du sang f.	trâsfyzjô dy sã
doigt m.	dwa
(doigt) index m.	(dwa) êdêks
doigt petit m.	dwa pati
(doigt) médium m.	(dwa) medjys
doigt annulaire m.	dwa an[n]ylê:r
pouce m.	pus

(日本語)	(英語)	
指関節	phalangeal joint	fə'kɒndiəl dʒɔɪnt
ゆるんだ	loose	lu:s
痒 疹	prurigo	pruə'ri:gou
腰 痛	lumbago	lʌmbéigou
横たわる	lying	laɪɪŋ
欲求不満	frustration	fɹʌstréɪʃən
癩	leprosy	léprosi
乱 視	astigmatism	æstɪgmətɪzəm
卵 巣	ovary	óvəri
流行, 流行期	epidemic	épidémik
流行性耳下腺炎	mumps	mʌmps
リウマチ熱	rheumatic fever	ru:méɪk fi:və
緑内障	glaucoma	glə:kóumə
淋 疾	gonorrhoea	gə'nɔ:rí:ə
リンパ	lymph	lɪmf
涙 腺	lacrimal gland	lækrɪməl glænd
裂 傷	laceration	læsə'reɪʃən
れんが色	brick-colored	brik kɔ:ld
レントゲ線	X-ray	éksréi
肋 骨	rib	rib
ワクチン	vaccine	váksi(:)n

(仏語)

articulation phalangien	ārtikylasjō fulanjn
lāche	la:ʃ
prurigo m.	pryriɡo
lumbago m.	lōbago
position couchée f.	pozisjō kuʃe
frustration f.	frystrasjō

lèpre f.	lepr
astigmatisme m.	astigmatism
ovaire m.	øve:r
épidémie f.	epidemi
oreillons m. pl.	orejō
fièvre rhumatismale f.	fje:vr rymatizmal
glaucome m.	glōkōm
gonorrhée f.	ɡonø:r'e
lymphe f.	lē:f
glande lacrymale f.	glā:d lakrimal
déchirure f.	deʃiry:r
couleur brique	kukø:r brik
rayon x m.	rejō iks
côte f.	kō:t

vaccin m.	vaksē
-----------	-------

健康調査表（赴任地用）

年 月 日記入

氏名	年令	才	性別 男・女	派遣年次	年	次隊
職種	現住所					

㊦ 内科全般（消化器をのぞく）

- (1) 全身倦怠感、易疲労感、食欲不振、体重減少のいずれかがあるかどうか。
- ある ない
- (2) 頭 痛 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (3) めまい 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (4) 耳 鳴 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (5) 最近視力がおとろえたと感ずる時があるか あり ない
- (6) 筋力低下（手足の筋肉に力が入らないこと）があるか あり ない
- (7) 睡眠障害（寝つきが悪い、眠りが浅いなど）があるか あり ない
- (8) 失神（脳貧血などの様に気が遠くなること）したことがあるか あり ない
- (9) 四肢の痺痺をおこしたことがあるか あり ない
- (10) 発熱について、時々高熱がでる、微熱が続くことがあるか あり ない
- (11) せき、たん 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (12) 胸痛、背痛 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (13) どうき、息切れ 頻回ある 時々ある ほとんどない ない
- (14) 発汗（汗をかきやすい）があるか あり ない
- (15) 口渇（口がかわきやすい）があるか あり ない
- (16) 手足にむくみが出没することがあるか あり ない
- (17) 四肢痛、関節痛があるか あり ない
- (18) 皮膚に発疹があるか あり ない
- (19) 出血（鼻出血、歯齦出血、皮下出血など）があるか あり ない
- (20) 頸部、腋窩部、そけい部等にリンパ節腫脹があるか あり ない

㊧ 消化器

- (1) 食欲は よい 普通 ない
- (2) 腹痛は ない あり
- ・いたむところ (みぞおち、左上腹、右上腹、へそのまわり、その他())
- ・何時いたむか (食後、空腹時、夜間、食事に関係なし)

- ・いたみはひびくか [ひびく せなか 右, 中央, 左, その他 ()]
 こし 右, 中央, 左
 かた 右, 中央, 左
 [ひびかない]
- ・いたみかた (キリキリ痛む, 重苦しい痛み, 時々激しい痛み,
 その他 ())
- ・いたむ時どうするか (がまんする, 物を食べると良い, くすりをのむ,
 注射をうける)
- (3) いつも胃が重い感じ ない ある
- (4) いつも胃がはっている感じ, 胃がもたれる感じ ない ある
- (5) むねやけ ない ある
- (6) げっぷ ない ある
- (7) すっぱい水が口に入るか 上らない 上る
- (8) はきけ ない ある
- (9) はくことは ない ある
- 00 便秘は _____日 _____回 普通 軟 硬 下痢
- (11) 近頃やせたか やせない
 やせた やせた量 () kg

CORNELL MEDICAL INDEX

健康調査表 昭和 年 月 日

姓名 _____ 現住所 _____
 満年齢 _____ 才 _____ 性別 男 女 職業 _____

※の該当する箇所を○印でかこんで下さい。

※最終学歴 小学 中学 高校 大学 ※結婚状況 未婚 既婚 死別 別居 離婚

○ 次の質問すべてに、はい、いいえ、のどちらかを○印でかこんで下さい。(特にひどい項目には◎をつけて下さい。)

- | | |
|---|---|
| <p>A</p> <p>1 新聞を読むのに眼障<small>かみ</small>がいりますか はい いいえ</p> <p>2 遠くを見るのに眼障がいりますか はい いいえ</p> <p>3 目先が冥暗<small>みやうあん</small>になる事がありますか はい いいえ</p> <p>4 いつもまばたきしたり涙が出たりしますか はい いいえ</p> <p>5 よく目が痛みますか はい いいえ</p> <p>5' よく目がかすみますか はい いいえ</p> <p>6 よく目が赤くなりますか はい いいえ</p> <p>7 耳は遠いですか はい いいえ</p> <p>8 耳だれのあった事がありますか はい いいえ</p> <p>9 いつも耳鳴りがしますか はい いいえ</p> <p>B</p> <p>10 よくせきばらいをしますか はい いいえ</p> <p>11 よくのどのつまるような感じがしますか はい いいえ</p> <p>12 よくくしゃみが出ますか はい いいえ</p> <p>13 いつも鼻がつまっていますか はい いいえ</p> <p>14 いつも鼻汁が出ますか はい いいえ</p> <p>15 時々ひどく鼻血が出ますか はい いいえ</p> <p>16 ひどいかぜにかかりやすいですか はい いいえ</p> <p>16' よくのどが痛んだり、扁桃腺<small>へんとうせん</small>がはれたりしますか はい いいえ</p> <p>17 かぜをひくと、せきが焼いてなおりにくいですか はい いいえ</p> <p>18 かぜをひくといつもねこみますか はい いいえ</p> <p>18' たんがよくなりますか はい いいえ</p> <p>19 冬になるとかぜばかりひいていやですか はい いいえ</p> <p>20 かぜをひくとすぐ鼻水が出ますか はい いいえ</p> | <p>21 ぜんそくがありますか はい いいえ</p> <p>22 いつもせきが出てこまりますか はい いいえ</p> <p>23 咳血<small>せきけつ</small>したことがありますか はい いいえ</p> <p>24 ひどく寝汗<small>ねあせ</small>をかくことがありますか はい いいえ</p> <p>25 結核以外の慢性の胸の病気にかかったことがありますか はい いいえ</p> <p>25' 痰<small>たん</small>が熱いことがありますか はい いいえ</p> <p>26 結核にかかったことがありますか はい いいえ</p> <p>27 結核の人といっしょに住んでいたことがありますか はい いいえ</p> <p>C</p> <p>28 医者から血圧が高いといわれたことがありますか はい いいえ</p> <p>29 医者から血圧が低くすぎるといわれたことがありますか はい いいえ</p> <p>30 胸や心ぞう<small>こころ</small>の所に痛みがありますか はい いいえ</p> <p>31 動作<small>どうさ</small>がうって気になることがよくありますか はい いいえ</p> <p>32 心ぞうが狂ったように早くうつことがありますか はい いいえ</p> <p>32' ときどき脈<small>いん</small>が狂うことがありますか はい いいえ</p> <p>33 よく息苦しくなることがありますか はい いいえ</p> <p>34 人より息切れしやすいですか はい いいえ</p> <p>35 時々坐<small>ま</small>っていても息切れすることがありますか はい いいえ</p> <p>36 足がひどくむくむことがありますか はい いいえ</p> <p>37 夏でも手足が冷えますか はい いいえ</p> <p>38 よく足がひきつることがありますか はい いいえ</p> <p>39 医者から心ぞうが悪いといわれたことがありますか はい いいえ</p> <p>40 家族に心ぞうの悪い人がいますか はい いいえ</p> |
|---|---|

D

- 41 歯は半分以上ぬけていますか はい いいえ
 42 歯ぐきから血がでますか はい いいえ
 43 ひどい歯のいたみがよくありますか はい いいえ
 44 舌がいつも真っ白でざらざらしていませんか はい いいえ
 45 いつも食欲がないですか はい いいえ
 46 よく肉食をしますか はい いいえ
 47 いつも脚指をあらがみしますか はい いいえ
 48 よく胃をこおしますか はい いいえ
 48' はきけがあったりはいたりしますか はい いいえ
 49 食後いつもおなかがもたれますか はい いいえ
 50 食後よくゲップが出ますか はい いいえ
 50' むねやけがあったり、ずっはいものが上ったりしますか はい いいえ
 51 胃の具合が悪くて、ひどく気になることがありますか はい いいえ
 51' 偏食がひどいのですか はい いいえ
 52 消化が悪くて困りますか はい いいえ
 53 さしこむようにおなかが痛むことがありますか はい いいえ
 54 いつも胃の具合がわるいのですか はい いいえ
 55 家族に胃の悪い人がいますか はい いいえ
 56 医者に胃潰瘍か十二指腸潰瘍があるといわれたことがありますか はい いいえ
 56' 食事のあとか空腹のときに胃がいたみますか はい いいえ
 57 よく下痢をしますか はい いいえ
 58 血の混ったひどい下痢をしたことがありますか はい いいえ
 58' とときどき便に粘液が出ますか はい いいえ
 59 寄生虫のいたことがありますか はい いいえ
 60 よく便秘しますか はい いいえ
 61 痔をおぼらったことがありますか はい いいえ
 62 前立(ひふや口が黄色くなる)になったことがありますか はい いいえ
 63 肝臓や胆のうの病気になったことがありますか はい いいえ

E

- 64 よく関節がいたんではれますか はい いいえ
 65 筋肉や関節がいつもこわばっていますか はい いいえ
 66 胸や脚にひどいいたみがありますか はい いいえ
 67 ひどいリウマチでかたわらになっていませんか はい いいえ
 67' 肩やくびすじがこりますか はい いいえ
 68 家族の人にリウマチの人がいますか はい いいえ
 69 押けないほど脚が悪かったり痛んだりしますか はい いいえ
 69' 足がだるいのですか はい いいえ
 70 仕事が続けられない程、背中や腰がいたみますか はい いいえ

- 71 からだのどこかきかなくなったところがありますか はい いいえ

F

- 72 ひふが非常に敏感でまけやすいですか はい いいえ
 72' とときどき小さな皮下出血が起りますか はい いいえ
 73 切り傷をすとなおりにくいですか はい いいえ
 74 顔がひどく赤くなることがありますか はい いいえ
 75 冬でもひどく汗をかきますか はい いいえ
 76 ひふにひどいかゆみがありますか はい いいえ
 77 よくひふにじんましんが出ますか はい いいえ
 77' とときどき顔がむくみますか はい いいえ
 78 よくできものができますか はい いいえ

G

- 79 よくひどい頭痛がしますか はい いいえ
 80 いつも頭が重かったり痛んだりするたためがたまにありますか はい いいえ
 81 家族に頭痛もちが多いですか はい いいえ
 82 急に体があつくなったり冷たくなったりしますか はい いいえ
 83 度々ひどい目まいがしますか はい いいえ
 84 気が遠くなって倒れそうな感じになることがありますか はい いいえ
 85 今迄、二回以上気を失ったことがありますか はい いいえ
 86 からだのどこかにしびれや痛みがありますか はい いいえ
 87 からだのどこかまひしたことがありますか はい いいえ
 88 頭をうって気を失ったことがありますか はい いいえ
 89 顔、鼻、皮は軽かびくびく動くことがありますか はい いいえ
 90 ひきつけの発作(てんかん)をおこしたことがありますか はい いいえ
 91 家族にひきつけの発作を起した人がいますか はい いいえ
 92 爪をかむくせがありますか はい いいえ
 93 どもりますか はい いいえ
 93' 舌もつれて話しがしにくいですか はい いいえ
 94 夜中にねほけて歩きまわることがありますか はい いいえ
 95 寝小便をしますか はい いいえ
 96 小学生の頃寝小便をしていましたか はい いいえ

H

- (男子のみ)
 97 性器に何かひどい故障のあったことがありますか はい いいえ
 98 性器のいたむことがありますか はい いいえ
 99 性器の治療を受けたことがありますか はい いいえ

- 100 脱腸だつちようがあると医者にいわれたことがありますか はい いいえ
- 101 尿に血のまじったことがありますか はい いいえ
- 102 尿の匂にくいことがありますか はい いいえ
〔女子のみ〕
- 97 いつも月経痛がありますか はい いいえ
- 97' 月経は不順ですか はい いいえ
- 98 月経のときは体の具合が悪いですか はい いいえ
- 99 月経のときはねこみですか はい いいえ
- 99' 月経期以外に性器の出血がありますか はい いいえ
- 100 からだが、かっとなって汗が出る
ことがありますか はい いいえ
- 101 月経のときは気分がいらいらし
ますか はい いいえ
- 102 おりものがありますか はい いいえ
〔男女とも〕
- 103 毎晩小用に起きますか はい いいえ
- 104 昼間、尿の回数が多いですか はい いいえ
- 105 小便をするときにやけるような
たみがありますか はい いいえ
- 106 ととき尿をもらすことがあります
か はい いいえ
- 107 腎じんぞうか腎臓が悪いと医者にいわ
れたことがありますか はい いいえ
- ↓
- 108 疲れてぐったりすることがよくあ
りますか はい いいえ
- 109 仕事をすると疲れ切ってしまう
か はい いいえ
- 110 朝起きるといつも疲れ切ってい
ますか はい いいえ
- 111 ちょっと仕事をしただけで疲
れますか はい いいえ
- 112 脚あしがはいらない程つかれますか はい いいえ
- 113 ひどい神経衰弱にかかっています
か はい いいえ
- 114 家族に神経衰弱にかかった人がい
ますか はい いいえ
- ↓
- J
- 115 よく病気をしますか はい いいえ
- 116 よく病気で寝こみますか はい いいえ
- 117 いつも体の具合が悪いですか はい いいえ
- 118 病弱のほうですか はい いいえ
- 119 あなたの一族は病気にかかりやす
いのですか はい いいえ
- 120 ひどい痛みで仕事が出来ないで
すか はい いいえ
- 121 自分の健康のことが気になって仕
方がないですか はい いいえ
- 122 いつも病気がちで不常ですか はい いいえ
- 123 からだが弱いので情けないです
か はい いいえ

K

- 124 腎じん熱にかかったことがあります
か はい いいえ
- 125 子供の時リウマチにかかったこと
或は手足の痛みを起したことがあ
りますか はい いいえ
- 126 マラリアにかかったことがあ
りますか はい いいえ
- 127 ひどい貧血で治療を受けたこと
がありますか はい いいえ
- 128 性病の治療を受けたことがあ
りますか はい いいえ
- 129 糖尿病とうにょうびようがありますか はい いいえ
- 130 医者に甲狀腺こうじょうせんがはれていると、い
われたことがありますか はい いいえ
- 131 医者から、しこり又は癌がんの治療を
うけたことがありますか はい いいえ
- 132 何か慢性の病気がありますか はい いいえ
- 132' 原爆の影さようを受けたことが
ありますか はい いいえ
- 133 やせすぎていますか はい いいえ
- 134 ふとりすぎていますか はい いいえ
- 135 医者から脚あしに静脈瘤じゆうみづがあるとい
われたことがありますか はい いいえ
- 136 入院を要するような手術を受けた
ことがありますか はい いいえ
- 137 大けがをしたことがありますか はい いいえ
- 138 ちょっとした事故を起したり、け
がをしやすいですか はい いいえ

L

- 139 寝つきが悪かったり、眠ってもす
ぐ目を覚まし易いのですか はい いいえ
- 139' よく夢をみますか はい いいえ
- 140 毎日くつろぐ余裕はないです
か はい いいえ
- 141 毎日運動する余裕はないです
か はい いいえ
- 142 1日20分以上たばこのみ
ますか はい いいえ
- 143 人より余計よほどにお茶やコー
ヒーをのみますか はい いいえ
- 144 毎日かなり酒をのみますか はい
いいえ

M

- 145 試験のときや質問される時に汗
がいたりふるえたりしますか はい
いいえ
- 146 目上の人が近づくととても緊張
してふるえそうになりますか はい
いいえ
- 147 目上の人が見ていると仕事
がさっぱり出来なくなりますか はい
いいえ
- 148 物事をいそいでせねばならぬ
ときには頭が混乱こんらんしますか はい
いいえ
- 149 少しでも急ぐと誤りをしやす
いですか はい いいえ
- 150 いつも指図や命令をとり違
えますか はい いいえ
- 151 見知らぬ人や場所が気にかか
りますか はい いいえ
- 152 そばに知った人がいないとおど
おどしますか はい いいえ

- 153 いつも決心がつかぬですか はい いいえ
 154 いつも相談相手がそばにいてほしいですか はい いいえ
 155 人から気がきかないと思われていますか はい いいえ
 156 よそで食事をするのが苦になりますか はい いいえ

N

- 157 会合に出ても一人ぼっちな感じがして悲しいですか はい いいえ
 158 いつも不寧で憂うつですか はい いいえ
 159 よく泣きますか はい いいえ
 160 いつもみじめで気が浮かないですか はい いいえ
 161 人生は全く希望がないように思われますか はい いいえ
 162 いっそ死んでしまいたいと思うことがありますか はい いいえ

O

- 163 いつもくよくよしますか はい いいえ
 164 家族にくよくよする人がいますか はい いいえ
 165 ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか はい いいえ
 166 人から神経質だと思われていますか はい いいえ
 167 家族に神経質な人がいますか はい いいえ
 168 ひどい神経症(ノイローゼ)になったことがありますか はい いいえ
 169 家族にひどい神経症になった人がいますか はい いいえ
 170 精神病院に入院したことがありますか はい いいえ
 171 家族の誰かが精神病院に入院したことがありますか はい いいえ

P

- 172 ひどいほかにかみや或は神経過敏なたちですか はい いいえ
 173 家族にはひどいほかにかみや神経過敏な人がいますか はい いいえ
 174 感情を苦しむのですか はい いいえ

- 175 人から批判されるとすぐ心が乱れますか はい いいえ
 176 人から氣むづかしやだと思われていますか はい いいえ
 177 人からいつも誤解されますか はい いいえ

Q

- 178 友達にも気を許さないですか はい いいえ
 179 仕事をしようと思ったらいりたってもおれなくなりますが はい いいえ
 180 すぐか一となったがいらいらしたりますか はい いいえ
 181 いつも緊張していないとすぐ取り乱しますか はい いいえ
 182 一寸したことが動にさわって腹が立ちますか はい いいえ
 183 人から指図されると腹が立ちますか はい いいえ
 184 人から茶化されていらいらしますか はい いいえ
 185 自分の思うようにならないとすぐか一となりませんか はい いいえ
 186 ひどく腹を立てることがよくありますか はい いいえ

R

- 187 よくからだかふるえますか はい いいえ
 188 いつも緊張していらいらしていませんか はい いいえ
 189 急に物音が飛び上るように驚いたりふるえたりしますか はい いいえ
 190 どなりつけられるとすぐんでしまいますか はい いいえ
 191 夜中急に物音がしたりするとおびえますか はい いいえ
 192 怖い夢で目さめることがよくありますか はい いいえ
 193 何か恐い噂人がいつも頭に浮んできますか はい いいえ
 194 よく何の理由もなく急におびえたりしますか はい いいえ
 195 突然冷汗ソベアのでることがよくありますか はい いいえ

カルテ番号

M A S

昭和 年 月 日

姓 名

現住所

満年齢 才 性別男女 職業

※の該当する箇所を○印でかこんで下さい。

※最終学歴 小学 中学 高校 大学

※結婚状況 未婚 既婚 死別 別居 離婚

○この調査表には50の質問があります。本当にありのまま正直にお答え下さい。

○答は 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない の三つになります。

自分の気持ちにあたると思われるところ一箇所だけに○印をつけて下さい。

○注 意

1. この答によつて、あなたという人間がどういう人間だというように、いわゆる人物評価をするものでは決してありません。

又、ここに答えた事に関しては絶対に秘密を守りますから、その点は御安心下さい。

2. 回答中、声を出したり、人を見たりしないようにお願いします。

- | | | | |
|---|-------|--------|---------------|
| 1. 私は疲れやすいということはありません。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 2. 私は時々お腹が気持ち悪くなることがあります。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 3. 私はいらいらすることがありますが、それは人並み以上だと思います。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 4. 私は頭が痛くなるということはありません。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 5. 私は仕事をする時には非常に緊張を感じてやります。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 6. 私は一つの事だけに専心することができません。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 7. 私はお金のことや仕事（勉強）のことで気に病む方です。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 8. 私はよく何かしようとする手ふるえに気がつくことがあります。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 9. 私は時に顔を赤くすることがありますが、その程度は他の人よりも多いと思います。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 10. 私は月に1回、或はそれ以上下痢をします。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |
| 11. 私は何か困ったことが起りはしないがと大変心配します。 | 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともわからない |

12. 私はめつたに顔が赤くなるということはありません。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
13. 私はよく顔が赤くなりほしはないかと心配します。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
14. 私は夜しばしば恐ろしい夢をみてうなされることがあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
15. 私の手や足のさきはいつも暖かくなつております。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
16. 私は涼しい日でも汗をかきます。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
17. 私は何か困ったことがあるとすぐ汗を出すのが非常に気になります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
18. 私は心臓の動悸が気になることや、息切れしそうだということは滅多にありません。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
19. 私はいつでも腹が空いているような感じがしています。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
20. 私は胃腸が何日も張苦しめて胃子がよくないと感じる 때가ときどきあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
21. 私は夜心配のため眠れないことが時々あります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
22. 私は胃腸がとても弱くて困ります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
23. 私は熟睡できず、ちよつとした目にもすぐ眼をさします。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
24. 私は時々人に話せないような夢をみます。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
25. 私はちよつとしたことにすぐ困つてしまいます。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
26. 私は大抵の人よりも感情を害しやすい方です。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
27. 私はいつでも何かかにかの心配をしていることが多いと思います。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
28. 私は他の人のように幸福になりたいと思います。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
29. 私は泣きやすい方だと思います。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
30. 私はいつも平静で、たいがいの事では慌てたりうろたえたりしません。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
31. 私は物事や他人についてよくよするた方です。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
32. 私はいつでも幸福です。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
33. 私は待たされると、すぐにいらいらして来ます。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
34. 私はよく長くすわつていられない程気持ちが落ち度かなくなることがあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
35. 私は時々眠れない程興奮します。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
36. 私は時々多くの困難にぶつかつて、もうどうする事もできないと感じることがあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
37. 私はよく実際には問題にならないような事柄について理由のない心配をする事があります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
38. 私は友達などにくらべると恐ろしいものが少ない方です。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
39. 私は自分に害を及ぼす苦がない人間や物事を恐ろしがることがよくあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
40. 私は自分を役に立たない人間だと思ふことがあります。 1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない

41. 私は大抵の人よりは、もつと自分というものを意識する（考える）ことが多いと思います。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
42. 私は何でも物事をむずかしく考える方です。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
43. 私は細かいことが気になる方です。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
44. 私は生きていくことがとてもつらいと思うことがよくあります。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
45. 私という人間は取柄のない人間だと時々思います。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
46. 私はあせつてばかりいて仕事がつぱり手につかないことがあります。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
47. 私は自分というものに全然自信が持てません。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
48. 私は自分はもう駄目になるのではないかと感じる事が時々あります。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
49. 私は困難なことに直面したり重大な決断をしたりするのを好みません。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない
50. 私は自分に非常に自信があります。
1. はい 2. いいえ 3. どちらともわからない

重症病発生時報告チェックリスト——ケガ

REPORT OF EMERGENCY CASE — WOUNDS & INJURIES

01 国名 name of country	JAPAN		J.O.C.V. TOKYO	
02 発信者名 addresser	03 所属 position	05 受信者名 receiver	06 所属 position	
04 緊急連絡先 emergency tel	TEL	07 交付日 date	年 月 日	時 分
11 氏名 name	12 性別 sex	13 年齢 age	14 血液型 blood groups	年 次 year
15 住所 address				
17 現在の場所 present whereabouts	1 自宅 one's own house	2 病院 hospital	3 その他 others	18 職業 occupation
21 事故発生日時 date and hour	年 月 日 時 分 AM PM			
22 事故発生場所 place of accident occurred				
23 事故原因 cause of accident				
24 外傷の種類 kind of injury	1. 挫傷 contusion 2. 切創 incised w. 3. 熱傷 burn 4. 掻創 (両肢創) 5. 咬創 bite w. 6 その他 others			
25 外傷の部位 location of injury	1. 顔面 face and neck 2. 顔面および頸部 3. 胸 4. 腹部 5. 肩および上肢 6. 肘および手首 7. 手および手指 8. 股および大腿 9. ひざ, 下腿, 手首および足 10. 眼 11. 耳 12. 鼻 13. その他 others			
26 症状の詳細 details of symptom	別紙 attached paper			
31 診断および治療 clinical diagnosis and treatment	1. 交付済 () 2. 交付済 () 2. 交付済 ()			
32 処置 first aid	1. 有 () 2. 無 ()			
33 手術 operation	1. 有 () 2. 無 ()			
34 輸血 blood transfusion	1. 有 (cc) 2. 無 ()			
35 輸液 infusion	1. 有 () 2. 無 ()			
36 処方薬物 medication	薬名 drug 投与方法 administration 薬名 drug 投与方法 administration 薬名 drug 投与方法 administration			
41 X線撮影 radiography	1. 有 (部位) 2. 無 ()			
42 診断結果 finding				
備考 note				

※ 本冊内は必ず報告して下さい

青年海外協力隊
Japan Overseas Cooperation of Volunteers

症状詳細説明 Detail of Symptom

		受傷直後 immediaty after injury	初診時 finding of first aid	経過 course	現症(その1) present illness	
51 日時 date and hour		/	年 月 日		年 月 日	
52 治療 treatment			1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others			1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others
53 治療・入院機関 hospital						
54 医師名 doctor						
症 状 symptom	55 意識 consciousness	1. 有 alert 2. 無(時間:duration) disturbed	1. 有 alert 2. 無(時間:duration) disturbed		1. 有 alert 2. 無(時間:duration) disturbed	
	56 記憶障害 memory disturbance		1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	57 全身性ショック systemic shock	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	58 呼吸困難 dyspnea	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	59 発熱 febrile					
	60 血圧 blood pressure	~ mmHg ()	~ mmHg ()		~ mmHg ()	
	61 脈率 pulse rate					
	62 出血 bleeding	1. 有(部位 量) 2. 無() yes lesion quantity no	1. 有(部位 量) 2. 無() yes lesion quantity no		1. 有(部位 量) 2. 無() yes lesion quantity no	
	63 嘔吐 vomiting	1. 有(回数) 2. 無() yes frequency no	1. 有(回数) 2. 無() yes frequency no		1. 有(回数) 2. 無() yes frequency no	
	64 吐血 hematemesis	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	65 傷の汚れ・化膿 contamination and infection	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	66 失禁 incontinence	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	67 歩行困難 gate disturbance	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	68 けいれん(ひきつけ) convulsion	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	69 運動麻痺としびれ motor paralysis and numbness	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	70 疼痛(いたみ) pain	1. 有(部位) 2. 無() yes lesion no	1. 有(部位) 2. 無() yes lesion no		1. 有() 2. 無() yes no	
	71 頭痛 headache	1. 有() 2. 無() yes no	1. 有() 2. 無() yes no		1. 有() 2. 無() yes no	
	72 視力 vision acuity	右 right 左 left	右 right 左 left		右 right 左 left	
	73 聴力 hearing	右 right 左 left	右 right 左 left		右 right 左 left	
	74 その他の症状 other symptom				精神障害 mental disorder	
					その他の症状 other symptom	

※受傷直後の症状は、わかるものはできるだけ報告して下さい

へいしん

症状詳細説明

		現 症 (その2) present illness	現 症 (その3) present illness	現 症 (その4) present illness
51 日 時 date and hour		年 月 日	年 月 日	年 月 日
52 治 療 treatment		1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others	1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others	1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others
53 治療・入院機関 hospital				
54 医師名 doctor				
症 状	55 意識 consciousness	1. 有 () 2. 無(時間:duration) alert disturbed	1. 有 () 2. 無(時間:duration) alert disturbed	1. 有 () 2. 無(時間:duration) alert disturbed
	56 記憶障害 memory disturbance	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	57 全身性ショック systemic shock	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	58 呼吸困難 dyspnea	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	59 発熱 febrile			
	60 血 圧 blood pressure	~ mmHg ()	~ mmHg ()	~ mmHg ()
	61 脈 搏 pulse rate			
	62 出 血 bleeding	1. 有(部位 量) yes lesion quantity 2. 無 no	1. 有(部位 量) yes lesion quantity 2. 無 no	1. 有(部位 量) yes lesion quantity 2. 無 no
	63 嘔 吐 vomiting	1. 有(回数) yes frequency 2. 無 no	1. 有(回数) yes frequency 2. 無 no	1. 有(回数) yes frequency 2. 無 no
	64 吐 血 hematemesis	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	65 菌の汚染・化膿 contamination and infection	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	66 失 禁 incontinence	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	67 歩行困難 gait disturbance	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	68 けいれん(ひきつけ) convulsion	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
	69 運動麻痺としびれ motor paralysis and numbness	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no
70 疼痛(いたみ) pain	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	
71 頭 痛 headache	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	1. 有() 2. 無 yes no	
72 視 力 vision acuity	右 right 左 left	右 right 左 left	右 right 左 left	
73 聴 力 hearing	右 right 左 left	右 right 左 left	右 right 左 left	
74	精神障害 mental disorder	精神障害 mental disorder	精神障害 mental disorder	
75	その他の症状 other symptom	その他の症状 other symptom	その他の症状 other symptom	

重症病発生時報告チェックリスト——ケガ以外

REPORT OF EMERGENCY CASE——EXCEPT WOUNDS & INJURIES

01 国名 name of country	Japan		J.O.C.V. Tokyo	
02 送信者名 addressor	03 所属 position		06 所属 position	
04 緊急時電話 emergency tel	TEL		07 交付日 date	
11 氏名 name	12 性別 sex	13 年齢 age	14 血液型 blood type	15 時刻 time
15 住所 address	16 所属年代 age		18 職業 occupation	
17 現在の場所 present whereabouts	1 自宅 one's house	2 病院 hospital	3 その他 others	
21 既往歴 past history				
22 家族歴 family history				
23 現在の環境 environment				
24 酒 alcohol	1. 飲む量として1日 drink cc/day	2. 飲む回数 times/day	25 たばこ cigarettes	1. 喫む回数として1日 smoke piece/day
26 アレルギー allergy	食物 food	1. 有 yes	2. 無 no	27 平均睡眠時間 average sleeping time
27 体重 weight	標準体重 standard weight	1. 有 yes	2. 無 no	28 出現(発作)の回数 periods
28 予防接種 protective inoculation	接種名 inoculum	接種時間 time	接種回数 times	29 現在の体重 present weight
31 診断 clinical diagnosis and treatment	1. 交付済 yes			
32 手術 operation	1. 有(形式) yes method			
33 輸血 blood transfusion	1. 有 yes			
34 投与薬 medication	薬名 drug	投与方法 administration	35 投与回数 times	
35 診断結果 finding	36 投与回数 times			
備考 note				

添付書類は必ず報告して下さい

青十字海外協力隊
Japan Overseas Cooperation Volunteers

症状チェックリスト

		発 症 時 At the onset	初 診 時 finding of first examination	経 過 course	現 症 (その1) present illness	
51	日 時 date and hour	/	年 月 日		年 月 日	51
52	病 歴 treatment		1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others		1. 入院 2. 通院 3. その他() admission ambulation others	52
53	病 院・入院機関 hospital					53
54	医 師 名 doctor					54
55	主 訴 chief complaint					55
56	発 熱 febrile	1. 有 → 発熱 ← 1 有 2 無 yes chill 日無	1. 有 → 発熱 ← 1 有 2 無 yes chill 日無		1. 有 → 発熱 ← 1 有 2 無 yes chill 日無	56
57	血 圧 blood pressure	~ mmHg	~ mmHg		~ mmHg	57
58	脈 拍 pulse rate					58
59	呼 吸 breathing					59
60	昏 迷 consciousness	1. 有 2. 無(時間) yes no duration	1. 有 2. 無(時間) yes no duration		1. 有 2. 無(時間) yes no duration	60
61	嘔 吐 vomiting	1. 有(回数) 2. 無 yes frequency	1. 有(回数) 2. 無 yes frequency		1. 有(回数) 2. 無 yes frequency	61
62	吐 血 hematemesis	1. 有() 2. 無 yes	1. 有() 2. 無 yes		1. 有() 2. 無 yes	62
63	貧 血 anemia	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	63
	黄 疸 jaundice	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	64
	発 疹 rash	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	65
66	便の回数 bowel movement					66
67	頭 痛 headache	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	67
68	幻 覚 hallucination	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	68
69	妄 想 delusion	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	69
70	失 語 aphasia	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	70
71	記憶障害 memory disturbance	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	71
72	食 欲 appetite	1. 有 2. 無 yes no	1. 有 2. 無 yes no		1. 有 2. 無 yes no	72
73	その他の症状 other symptom					73
備 考 note						

へい

症状チェックリスト (つづき)

		現 症 (セの2) present illness	現 症 (セの3) present illness	現 症 (セの4) present illness	
51 日 時 date and hour		年 / 月 / 日	年 / 月 / 日	年 / 月 / 日	
52 治 療 treatment		1. 入院 admission 2. 通院 ambulation 3. その他() others	1. 入院 admission 2. 通院 ambulation 3. その他() others	1. 入院 admission 2. 通院 ambulation 3. その他() others	
53 治療・入院機関 hospital					
54 医師名 doctor					
55 主 訴 chief complaint					
56 発 熱 febrile		1. 有→悪寒 1有yes 2. 無 no yes 日無no	1. 有→悪寒 1有yes 2. 無 no yes 日無no	1. 有→悪寒 1有yes 2. 無 no yes 日無no	
57 血 圧 blood pressure		~ mmHg	~ mmHg	~ mmHg	
58 脈 拍 pulse rate					
59 呼 吸 数 breathing					
60 意 識 consciousness		1. 有 yes 2. 無(時間) no duration	1. 有 yes 2. 無(時間) no duration	1. 有 yes 2. 無(時間) no duration	
61 嘔 吐 vomiting		1. 有(回数) yes frequency) 2. 無 no	1. 有(回数) yes frequency) 2. 無 no	1. 有(回数) yes frequency) 2. 無 no	
62 吐 血 hematemesis		1. 有() yes) 2. 無 no	1. 有() yes) 2. 無 no	1. 有() yes) 2. 無 no	
63 貧 血 anemia	皮膚 皮膚	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
		64 黄 疸 jaundice	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no
		65 発 疹 rash	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no
66 便の回数 bowel movement		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
67 頭 痛 headache		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
68 幻 覚 hallucination		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
69 妄 想 delusion		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
70 失 語 aphasia		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
71 記憶障害 memory disturbance		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
72 食 欲 appetite		1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	1. 有 yes 2. 無 no	
73 その他の症状 other symptom					
備 考 note					

検査項目チェックリスト

		初診時 first examination	再診時 1 follow up 1	再診時 2 follow up 2	再診時 3 follow up 3	
81 月 時 date and hour		年 / 月 / 日	年 / 月 / 日	年 / 月 / 日	年 / 月 / 日	81
便 stool	82 寄生虫 parasite					82
	83 潜血 occult blood					83
	84 アメーバ赤痢 amebic dysentery					84
	85 蛋白 protein					85
	86 糖 sugar					86
	87 沈渣 sediment					87
	88 PH					88
	89 比重 specific gravity					89
	90 赤血球数 red(blood cell)count					90
	91 白血球数 white(blood cell)count					91
血 blood	92 血色素 hemoglobin					92
	93 ヘマトクリット hematocrit					93
	94 血沈値 sedimentation rate					94
	95 梅毒反応 syphilis					95
	96 総蛋白 total protein					96
	97 尿酸 uric acid					97
	98 尿酸窒素 B.U.N.					98
	99 血糖 blood sugar					99
	100 コレステロール cholesterol					100
	101 マラリア malaria					101
102 X線 radiography					102	
103 心電図 E.C.G.(E.K.G.)					103	
診 断	111 診断結果 finding					111
備 考	note					

※ このページは診察を受けた場合、検査を受けた項目について報告して下さい。

健康記録

年度 次隊 期組 氏名 巡遭国

この欄は、各隊員の活動期間において、病気にかった時、又は体調の悪い時の状況を日記風に記録して、任期中及び帰国後に発病した場合や帰国時健康診断の資料とするものです。生活環境も合せて記入の上、記録の部分は切り取って帰国後、診療室へ提出願います。

生活環境記録 (該当する箇所に○を付け、又は記入して下さい。)

主に住んだ所	首都・地方	燃 料	炊事等で主に使用していたもの ()
住 居	借家・間借 その他()	冷 蔵 庫 (自分用の)	使用していた 使用していなかった
電 気	有 { 24時間 時間制(時間) 無	食 事	1.現地食 その他 () 2.自炊 外食 その他 ()
水 道	有 無 { 井戸水 川 水 その他()	主食としていたもの	()
飲 料 水	{ 煮沸したもの フィルターでろ過したもの 生水 その他()	気 候	乾 期 月～ 月 雨 期 月～ 月 その他

健康記録

※ かぜ程度でも記録すること

年月日	時間	症状及び経過	対処法(受診の有無) 服薬品名等	備考

健康記録

※ かぜ程度でも記録すること

年月日	時間	症状及び経過	対処法 (受診の有無) 服薬品名等	備考

昭和53年4月1日

〔不許複製〕

健康管理ハンドブック

(東京大学医科学研究所教授)
(医学博士 大谷 杉 上 著)

編 集 (株) 国際医学情報センター
発 行 国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

〒150 渋谷区広尾4-2-24
電話 (407) 7261 (大代表)

印 刷 (株) 東 神 堂

